

非常通報装置

WhiteLock21A

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読み下さい

PDF を画面でご覧の方は目次や参照ページをクリックすると該当ページに移動します。
また文章から移動する箇所もあります。

重要事項

本製品は、医療機器、原子力施設機器、航空機器、交通関連機器など、ひとたび事故が起こると生命、財産に関わる重大な損害を与えるおそれのあるシステムには使用しないで下さい。

本製品を組み込んだお客様の製品に起因して発生したいかなる損害に対しても、弊社では一切の責任を負いません。

本製品の仕様、デザインなどは改良のため予告なしに変更する事があります。

はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「WhiteLock21A」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品は、外部からの入力信号に応じて一般電話回線から携帯電話機、PHS 電話機、一般電話機などに音声メッセージや文字メッセージ（SMS メールまたはE メール）で自動通報する装置です。

この「非常通報装置 WhiteLock21A 取扱説明書」の本文中においては、「WhiteLock21A」を「WL21A」または「WL21」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

●NTT 仕様で2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線（20PPS）、PBX（2 線式外線発信回線）、ISDN 回線ならターミナルアダプタのアナログポートが利用できます。

●**ビジネスホン回線、ホームテレホン回線での使用は出来ません。**また、これらの回線に接続して通報動作をしますと、WL21A が故障します。

●文字メッセージ（E メール）通報する際には、「メール送信システム」サービスをご使用下さい。携帯メール（SMS）通報する際にはドコモの「SMS（ショートメッセージサービス）メール」を使用します。

●WL21A の誤作動、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

●WL21A お使いになる前に、本書をよくお読み頂き、手順に沿って動作を確認の上ご使用下さい。特に通報先の電話番号の間違いには十分ご注意ください。この説明書は、本製品の側などにいつも手元においてお使いください。

●WL21A は付属品を含め、改良のため予告なく装置全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●WL21A は、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。弊社製品サイトより設定用ソフトウェアをダウンロードしていただき、パソコンにインストールし設定を行う必要があります。また、音声通報する場合は録音も行ってください。

●設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。

※本取扱説明書に掲載のパソコン画面は、Windows7（Professional サービスパック1）を例にしてあります。

※本取扱説明書に掲載の設定ソフトは WhiteLock21 設定ソフト Ver1.46 が記載されています。

通報を受ける際の注意事項

通報先は、**呼出音を3 回以上鳴らしてから**受話器をとってください。受話器をすぐに取りますと、何回も通報を繰り返します。また、音声メッセージも流れません。

携帯電話で通報を受ける際の注意事項

通報先で音声メッセージが流れない場合

◎通報先の携帯電話がi モード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音（プルル音）が聞こえない状態です。呼出音（プルル音）が聞こえませんか、WL21A_RN は回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【 解決方法 】 通報先は5 回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ますと正常通報します。

◎通報先の携帯電話が『メロディコール』（ドコモ）又は『待ちうた』（au）サービスに契約されていると、電話をかけた側には、呼出音（プルル音）に音楽が混じって（又は音楽のみ）聞こえます。呼出音（プルル音）が聞こえませんか、WL21A は回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【 解決方法 】 通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号（通報装置から発信する番号）の設定をプルル音に変更して下さい。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。

製品ホームページ <https://www.adocon.jp/>

* 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

* 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

安全にお使いいただくために

本製品の誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために、本文中に示す「警告マーク」および「注意マーク」の意味を十分理解していただき必ずお守り下さい。

この取扱説明書では動作設定および操作の手順について解説しています。内容をご理解いただいたうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

警告マーク及び注意マーク表示について



警告

この表示の警告事項を無視して本製品の取り扱いをすると、本製品が誤動作し、人命、身体に関わる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。また、法律違反になる場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。



注意

この表示の注意事項を無視して本製品の誤った取り扱いをしますと、本製品が破損、又は通信不能や誤動作する場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。

警告と注意



警告

本製品は、人命や身体、財産に関わる重大事故の発生するおそれのある設備や機器としての使用や、それらに組み込んで使用しないで下さい。また、それら施設の周辺で使用しないで下さい。

電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないで下さい。

航空機、原子炉施設などの重要施設等での使用はしないで下さい。

本製品を使用したシステムを設計する場合は誤動作防止、火災発生対策など安全設計をして下さい。

軍事目的（武器、テロ行為）や、軍事関連施設では使用しないで下さい。

本製品は、日本国内仕様となっていますので、海外での使用は出来ません。

本製品を使用するシステム、機器の安全対策を十分に行って下さい。

以下のような環境あるいは、本製品の定格や仕様の範囲を越えた使用はしないで下さい。

- ・本製品は精密機器です。塵・ほこり・水滴等により故障することがあります。
- ・振動や衝撃が加わる場所。高温、低温になる場所や温度差が急激に変化する場所、閉め切った車内、ストーブ、ヒータ、冷凍庫、本体の放熱を妨げる場所など。
- ・湿度や水気が多い場所、浴室、台所の流しや湯気の当たる場所、雨や雪のかかる屋外、直射日光が当たる場所。
- ・強い電波や磁力、静電気が発生する場所。腐食性ガスの発生、化学物質の付着するおそれのある場所。

以下のような取扱いは絶対にしないで下さい。

- ・本製品を落下などの衝撃を加えないで下さい。
- ・本製品の上には、重い物、液体などを置かないで下さい。
- ・異常発熱や発煙の原因となる為、本製品内に金属などの異物が入らないようにして下さい。
- ・電源供給線の誤配線が無いようにして下さい。
- ・手や体が電源部に接触すると感電する事がありますので、ご注意下さい。
- ・煙が出るなど、異臭がした場合は直ちに電源供給を停止し使用を中止して下さい。
- ・感電の恐れがありますので、電源を入れた状態では施工しないでください。
- ・本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。



本体の分解・改造は行わないでください。本体内部は静電気に極めて弱い部品が使用されています。本体に触る前に人体の静電気を逃がしてください。

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保障特性・性能の数値に少し余裕を持たせて使用してください。

本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がした場合や、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

本製品を長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管して下さい。

本書の内容のコピーや転載を無断で行わないで下さい。著作権法により禁止されています。

AC アダプタは必ず付属品をご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかる場合があります。設定後には動作試験（メール通報の場合メールの受信を確認してください）を必ず実施してからご使用下さい。また通報先に登録してある電話番号を解約された際にも、通報装置の設定修正・動作試験を行ってください。

設置場所について（必ずお読み下さい）

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になるなど、おもわぬ火災や故障の原因になる場合があります。

- ・急激な温度変化や湿度変化がある場所。
- ・結露するような場所。
- ・直射日光が当たる場所。
- ・水気、火気のある場所。
- ・粉塵等のほこりの多い場所。
- ・不安定な場所や振動がある場所。
- ・強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・腐食性ガスのある場所。
- ・気化した薬品や化学反応をおこす様な場所。空気中に塩分が含まれている場所。
- ・鉄粉がある場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手が届かない場所に保管、設置してください。長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。

初期不良について

初期不良対応は**商品到着後 14 日以内**です。また、弊社の発送間違いの場合も交換させていただきます。なお、初期不良で売り切れ商品につきましては、同機種に交換できない場合があります。その場合、修理対応とさせていただきますか、弊社によるお引取りにて対応させていただきます。

製品保証について

本製品の保証期間は、ご購入の日から 1 年間です。保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。ただし、「警告と注意」の項に掲げた環境や使用状況での故障については、保証期間であっても有償修理となります。保証に関する詳細は製品に添付の保証書をご覧ください。

雷による故障について

雷による故障は保証期間内であっても保証対象外となります。対策として、回線側と電源側に避雷器を取り付けられる事をおすすめします。弊社では避雷器の販売をしておりませんので別途ご用意下さい。

製品修理について

本製品の正しいご使用方法にも関わらず発生した故障に対し、製品の保証期間中（ご購入後1年間）は無償で修理いたします。保証期間を過ぎている場合は有償修理となります。

修理に出される前には、弊社ホームページの製品別 Q&A に同様な事例がないかご確認下さい。また、もう一度故障状況もご確認いただき、弊社営業担当者まで事前にご連絡をお願いします。

修理品は宅配便などで弊社までご送付下さい。

修理内容の明記

修理に出す場合は、必ず故障の内容や状況を具体的に明記し、修理品と一緒に送って下さい。

修理料金について

修理料金は、技術料、部品代、送料で構成されます。

送料について

保証期間内：返送費用は弊社負担とさせていただきます。

弊社までの送料はお客様でご負担下さい。

保証期間外：お客様の負担となります。

※出張修理は行いません。

ご連絡、お問い合わせ先

各種問い合わせは、下記の連絡方法がございます。また、弊社のホームページには技術情報ならびに最新情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

インターネットメールによるお問い合わせが、簡潔で間違いが無く、内容が伝えやすいのでとても便利です。

技術的なお問合せに関しては、開発環境や問題となっている事柄などを具体的にとりまとめた後にご連絡下さい。

■ インターネットメール

Eメールアドレス：eigy@adocon.co.jp

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 電話

電話番号：0852-54-2036

受付時間： 9：00 ～ 12：00

13：00 ～ 17：00

※営業日は平日のみとなっております。

■ FAX

FAX 番号：0852-54-2196

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 郵便

郵便番号：690-2101

住所：島根県松江市八雲町日吉 3-24

宛名：株式会社アドコン 営業担当宛

■ ホームページ

弊社ホームページには製品毎のカatalog、取扱説明書ならびに新着情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

ホームページアドレス <https://www.adocon.jp/>

QR コード



目 次

ご使用の前に	8
略称、商標について	8
制限事項	8
接続する電話回線について	8
本体の操作について	8
本体内蔵の停電保証用充電池について	8
製品概要と特徴	9
概要	9
特徴	9
パッケージ内容	10
PBX（内線交換機）での使用について	11
PBX回線で確認するところ	11
PBXの仕様で確認するところ	11
その他の注意点	11
各部の名称とその機能	12
本体外観	12
動作設定	13
設定ソフトのインストール	13
ホームページから「ダウンロード」する場合	13
CD-ROMからインストールする場合	15
設定に使用するパソコン	15
設定ソフトウェアのWindows7対応について	15
設定ソフトウェアの起動	16
通報先の設定	17
通報先の種別	17
通報先の電話番号	17
外線発信番号	17
音声通報する場合	18
携帯メール(SMS)通報する場合	18
WhiteLock集中監視へ通報する場合	19
メール送信システムへ通報する場合	20
タダ電通報する場合	21
全体の設定	21
通報先を終了する条件	21
停電や復電時に通報する	22
解除呼出の方法	22
入力信号の接点仕様	22
電源ON時に60秒間、入力信号を無視する	22
テレコン	23
送信メッセージの編集	23
携帯メール(SMS)通報する場合	24
WhiteLock集中監視へ通報する場合	24
メール送信システムへ通報する場合	25
入力信号1～8	25
全解除	25
停電・復電	25
文字数	26
テスト文字列設定	26
通信ポートの確認	26
通信ポートを自動的に検出する	27

通信ポート指定	27
本体とパソコンの接続	27
設定内容の転送	27
本体バージョンの確認	29
ポートが使用中だった場合	29
本体から設定内容を読み込む	30
設定内容の保存と読み込み	30
録音再生	31
録音再生の概要	31
録音再生の操作方法	32
動作確認	33
呼出の種類と通話時間	34
通報の種類	34
音声通報	34
携帯メール(SMS)通報	34
WhiteLock集中監視へ通報	34
メール送信システムによるEメール通報	34
タダ電通報	34
1回の通報にかかる通話時間	34
標準設定の時	35
全解除呼出設定	35
個別解除呼出	36
停電時発信	36
通報終了の条件	37
1つの通報先を終了する条件	37
複数の通報先を終了する条件	37
通報を終了するまでに発生した警報	38
テレコン	39
入力信号の状態を確認するとき	39
入力信号の状態を音声で聞く	39
パスワードを間違えた場合	39
出力信号をON、OFFするとき	40
出力信号1をON	40
出力信号1をOFF	40
パスワードを間違えた場合	40
コマンドを間違えた場合	41
注意事項	41
設置方法	42
設置場所を決める	42
制御盤などに設置する場合	42
接続工事	42
本体側の電話回線	42
他の電話機やFAXなどの回線と併用するとき	42
電話回線の終端に接続する場合	42
モジュラージャックを分配する場合	42
入力端子接続	43
接続	43
端子台	43
取付金具	43
センサー用電源出力	44
ACアダプタの接続	44
運転の開始	44
信号入力内部回路	45

信号出力内部回路	45
リレーユニット（オプション品）	46
センサー用電源5V出力を使用した接続	46
外部電源を使用した接続	46
通報の受信	47
受信装置	47
音声通報を電話機で受信したとき	47
携帯メール(SMS)を受信する場合	47
メール送信システムを利用した場合	47
WhiteLock集中監視の場合	47
動作モニタ	48
表示モニタランプ	48
起動時	48
設定スイッチがONの状態での起動したとき	48
通報の状態から見たとき	49
ランプの点灯状態から見たとき	49
停電保証について	50
停電保証用充電電池	50
Q & A 困ったときにご覧下さい	51
一般的なご質問	52
通報・設定についてのご質問	55
携帯メール(SMS)についてのご質問	58
メール送信システムについてのご質問	59
テレコンについてのご質問	60
設定ソフトについてのご質問	61
こんなときには	62
設定ソフトウェアのアンインストール	62
本体を清掃するときは	62
仕様	63
「WhiteLock21A」 本体	63
設定ソフトウェア	63
インターフェース仕様	64
ACアダプタ外形図	64
本体外形図	65
付録	66
文字コード	66
フリーメッセージ	66
区点コード	66
バージョン	67
更新履歴	68
索引	71

ご使用の前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

接続する電話回線について

本体と**接続可能な電話回線**は下記の通りです。

1. NTT 仕様のアナログ回線（2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線）です。
ADSL 回線・ISDN 回線・IP 回線・光回線等の場合は、専用の信号変換機器やモデム、ターミナルアダプタのアナログポートに接続できます。
注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。
2. アナログ PBX 交換機を介して接続する場合には、NTT 仕様に準拠したものでなければなりません。
詳細は、「PBX（内線交換機）での使用について」11ページをご覧ください。

本体と**接続出来ない電話回線**は下記の通りです。

1. 携帯電話機、PHS、ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4 線式電話機、専用線に接続することは出来ません。
注）ビジネスホン回線・ホームテレホン回線に接続して通報動作をしますと WL21A が故障します。

本体の操作について

- 電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 CPU が正しく起動しないことがあります。電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には OFF の後 3 秒以上待って ON にして下さい。
- 電源プラグを差し込む場合は、WL21A の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。
- 設定ソフトで設定を行った後は、実際に発信させて受信できるか確認して下さい。
- 通報動作を行う場合は、設定スイッチが OFF の状態で電源スイッチを ON にして下さい。設定スイッチが ON の状態で電源スイッチを ON にしますと、通報動作を行いませんのでご注意ください。
- 接点毎に異なる通報先の設定はできません。
- 出荷状態では設定されていません。この状態では入力信号が「警報発生」の状態になっても通報しません。
- 再呼出機能については、同一の通報先を複数設定することにより対応しています。

本体内蔵の停電保証用充電電池について

出荷時、停電保証用充電電池は完全に充電されておりませんのでご注意ください。商用電源（AC アダプタ）を接続して、72 時間（3 日間）経過すれば満充電となります。本体の電源スイッチが OFF の状態でも充電します。

製品概要と特徴

概要

本製品は、電話回線に接続して通報を行います。接点信号が入ると、あらかじめ設定された通報先へ音声メッセージまたは文字メッセージで通報します。

特徴

- ・ **PBX（内線交換機）にも対応**
PBX交換機の内線間への通報や、外線への通報に接続するときの発信機能を装備しています。
- ・ **接点入力8点＋センサー用電源出力**
入力点数が8点もあり様々なセンサーや機器類も接続できます。また、センサー等の電源供給用として電源出力を装備しています。
- ・ **外部入力毎にIC録音された内容で自動通報**
圧縮無し直接録音方式で音質良好。録音は何度でも可能、録音内容は半永久的に保持。
- ・ **最大6カ所までの通報が可能**
最大6カ所までの通報先の指定が可能です。
- ・ **通報終了の条件も指定可能**
「全カ所通報」または、「通報先のどれか1カ所に通報」から選択できます。
- ・ **メール通報はEメール、または携帯メール(SMS)が可能**
「メール送信システム」に登録することで、最大30カ所までEメール通報が可能です。または、携帯メール(SMS)通報（**通報先はドコモ回線を契約されたSMS受信が可能な携帯端末に限る**）も可能です。どちらも、メッセージ内容は入力信号ごとに設定できます。
- ・ **動作確認やテレコンも可能（制御出力4点）**
自動着信により、現在の入力信号の状態、停電状態を音声で確認できます。
また、「WL21A」に一般回線や携帯電話で電話をかけ、プッシュボタンで動作をコントロールできます。
*テレコン（テレコントロール）：外出先から電話を使って、機器の状態を確認したり制御したりすることです。
- ・ **停電時用の電池を内蔵**
停電が発生したときに停電通報が可能です。
- ・ **停電・復電通報を標準装備**
停電・復電通報は、設定ソフトにチェックを入れるだけです。外部から停電信号を接続する必要がありません。
- ・ **小型で制御盤内への組込が容易**
本体重量は約540gと軽量です。制御盤内への取り付けも簡単に行えます。また、取付金具も付属しています。
- ・ **入力信号の選択が可能**
入力信号が短絡状態になったときに通報するか、開放状態になったときに通報するか、入力毎に個別に設定が可能。設定ソフトの所定箇所にチェックを入れるだけで切り替えできます。
- ・ **設定用パソコンソフト（Windows 7、8、10 用）**
設定ソフトは、インストールも設定もとても簡単です。最新の設定ソフトは、弊社製品サイトからいつでもダウンロードしてご利用できます。製品には、通信ケーブルも標準添付しています。
- ・ **低価格**
他社の半分以上の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

パッケージ内容

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

名称	
本体	
取り付け金具	
接点出力ケーブル	
AC アダプタ	
イヤホンマイク	
232C 通信ケーブル (9 ピンストレート)	
モジュラーケーブル	
停電保障用充電電池 (本体に内蔵済み)	
保証書	—

※上図は、実際のものと多少形状等が異なる場合がありますのでご了承ください。

※取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品に付属していません。

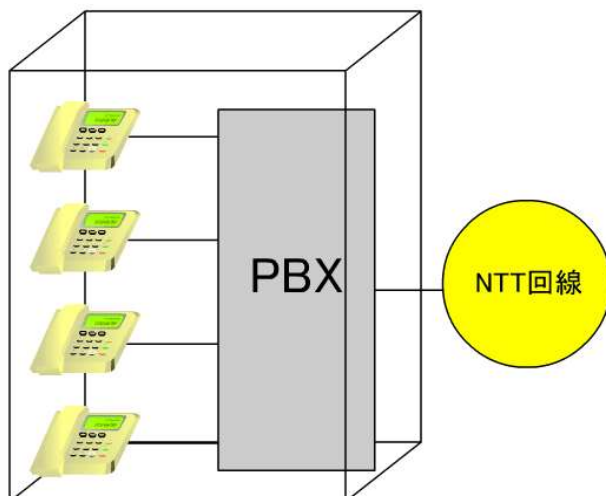
取扱説明書、設定用ソフトウェアは製品のページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。

製品サイト <https://www.adocon.jp/>

取扱説明書（モノクロ A4 版）や、設定用ソフトウェア（CD-R 版）を別途購入して頂くことも可能です。ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

PBX（内線交換機）での使用について

PBX（内線交換機）とは、構内電話交換機のことをいいます。電話局で使われている局内交換機に対応するもので、企業内に設置して外線電話と内線電話同士を交換する装置のことです。



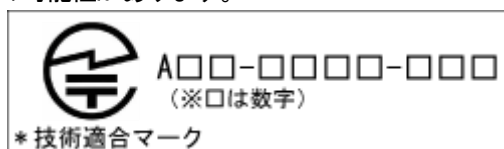
PBX 回線で確認するところ

接続する回線がビジネスホン回線ではない事をご確認下さい。NTT の電話機（家電量販店・ホームセンターなどで市販している物）を内線へ接続し、外線に電話がかかる回線であればWL21A を接続出来ます。

※ビジネスホン回線へWL21A を接続して通報動作を行いますと、WL21A が故障します。

電話回線に接続されている電話機の技術基準適合認定番号でも、ビジネスホン回線の確認が出来ます。電話機には、技術適合マークと認定番号が記載されています。電話用設備（一般電話機など）の認証番号は「A」で始まります。一例として、ビジネスホン端末機器の認定番号の始まりは「ACD」と表示されています。

ビジネスホン回線は、主装置に認証番号が記載されている事があります。電話機に記載が無い場合はビジネスホン回線の可能性があります。



※左図は、一般電話機の記載例です。

PBX の仕様で確認するところ

受話器を上げたとき	DT（発信音）…400 Hz の連続、または、PDT（内線発信音）…400 Hz 0.25 秒 ON 0.25 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が話中のとき	BT（話中音）…400 Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手を呼び出しているとき	RBT（呼出音）…400 Hz 1 秒 ON 2 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が電話を切断したとき	BT（話中音）…400 Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。数回鳴って無音になってしまう PBX は使えません。

※ 発信音が500HzのPBXや、話中音が440HzのPBXもあります。これらはPBXのメーカーに問い合わせてください。
また、上記説明で、0.25秒のところが0.2秒のPBXがありますが、これは使用できません。

※ 発信音がこの条件と異なる場合、PBXの設定で変更可能な場合があります。PBXのメーカーか設置業者に問い合わせてください。

※ 音声通報の場合、通報を受けた電話機で#を押すと通報終了となります。PBXで電話を切ったあとの話中音の周波数が違う場合でも、#を押すことで通報終了とさせることができます。

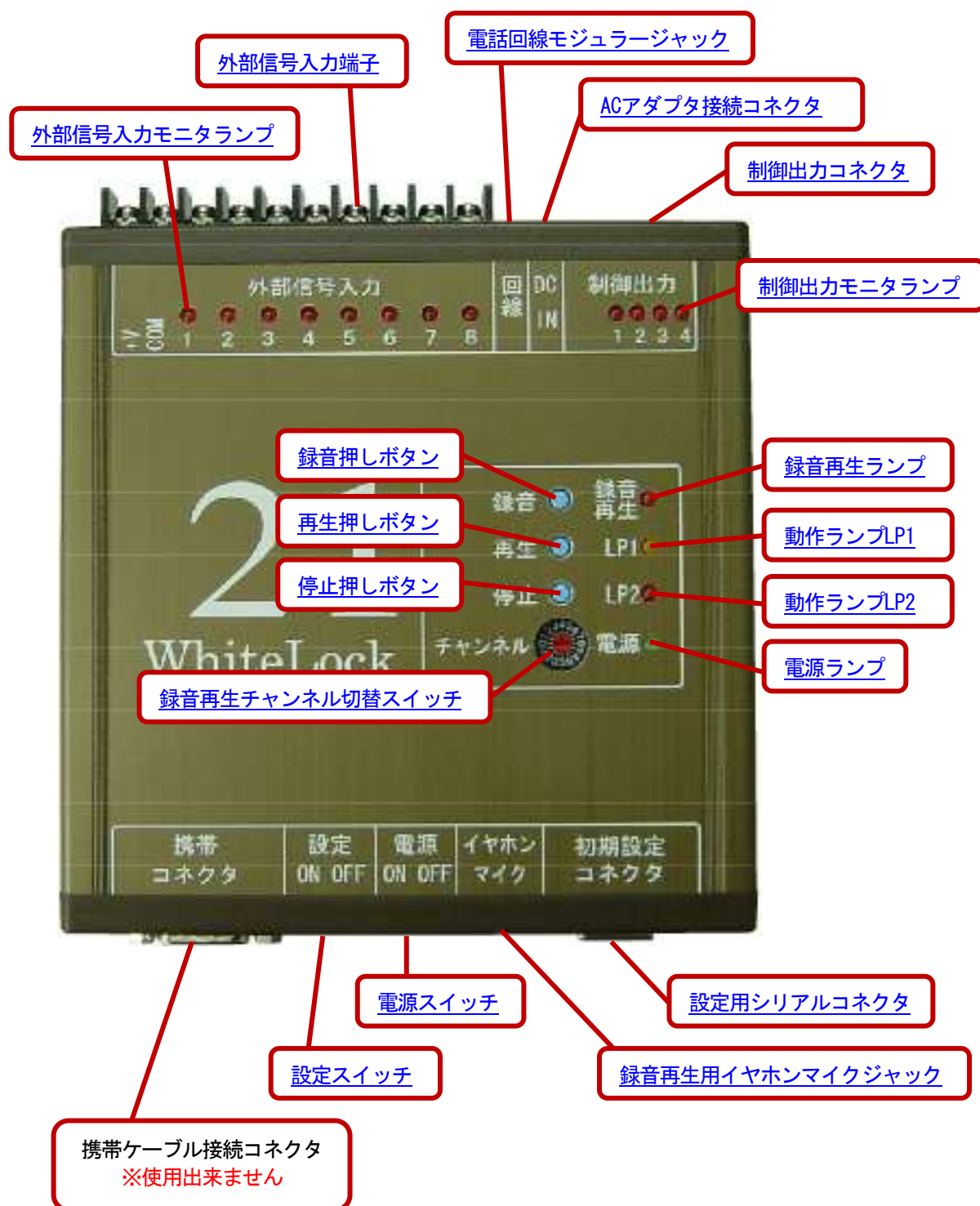
その他の注意点

外線で電話番号の最初に「186」を付けると電話がかからないPBXもあります。この場合は「186」を付けない設定で使用してください。

外線発信を行う設定にすると、通報装置は指定番号の発信を行ってから約1秒待ってダイヤルを開始します。外線発信番号と待機時間は設定で変更できます。

各部の名称とその機能

本体外観



動作設定

WL21A は、ご利用の前に通報動作に必要な条件や電話番号などを登録しておく必要があります。この登録は、パソコンに「設定ソフトウェア (Windows 7 / 8 / 10 用)」をインストールしたもので行います。設定ソフトウェアは弊社ホームページからいつでもダウンロードできます。

ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方にお願ひするか、弊社に設定をご依頼ください。また、ご購入後の設定変更も承ります。(どちらも有料で、別途送料が必要です。)

設定ソフトのインストール

設定ソフトをパソコンにインストールするためには、インストーラーソフトを入手する必要があります。

ホームページから「ダウンロード」する場合

※パソコンを起動し、管理者権限 (Administrator) でログインします。インターネットが利用出来る事を確認し、起動中のアプリケーションを全て終了します。

- ① 弊社ホームページのトップ画面の「ダウンロード」を選択します。

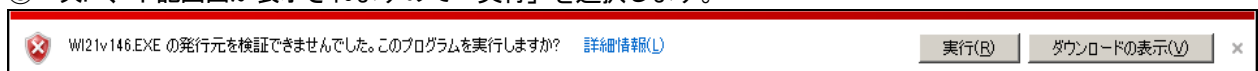


「ダウンロード」→「設定ソフト」→「WhiteLock21A_RN/WhiteLock21A/WhiteLock21D」

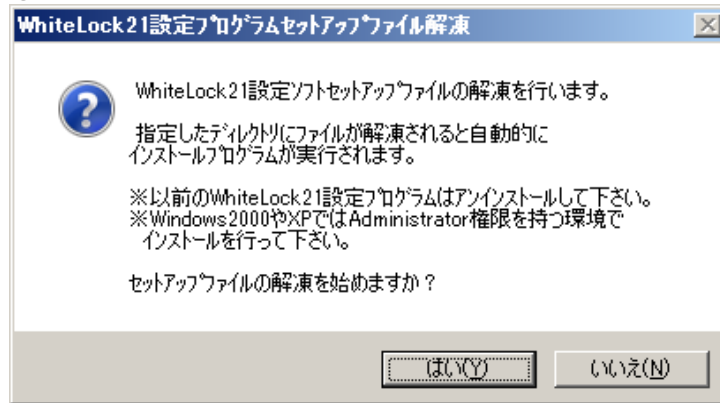
- ② ダウンロード画面では、「設定ソフト」を選択します。
- ③ 設定ソフト画面では、「WhiteLock21A_RN/WhiteLock21A/WhiteLock21D」 (Ver1.46) を選択します。
- ④ ダウンロード画面の「README.txt」を開き、インストール方法の内容を確認して下さい。
- ⑤ 「設定ソフトダウンロード」をクリックすると、下記画面が表示されますので、「実行」を選択します。



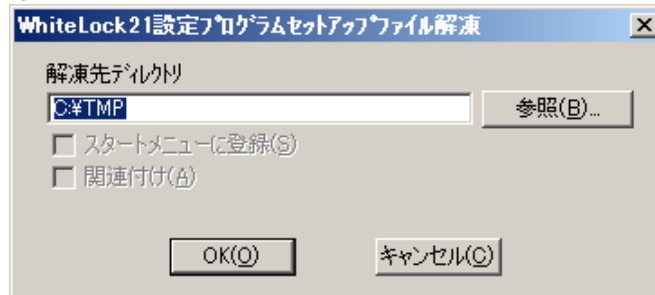
- ⑥ 次に、下記画面が表示されますので「実行」を選択します。



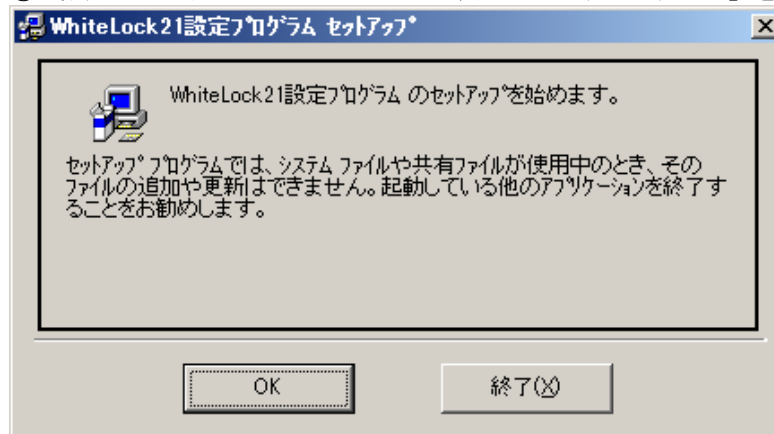
- ⑦ セットアップファイルの解凍画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



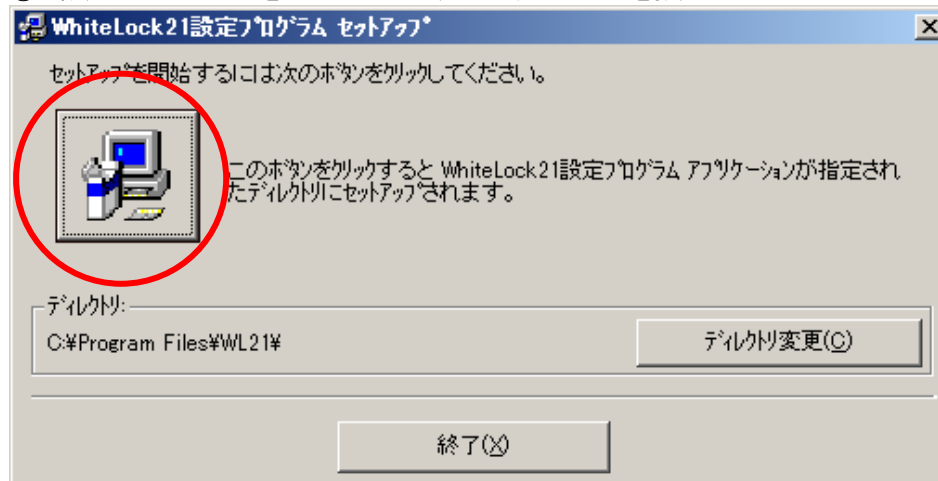
- ⑧ 次に、解凍先を確認してきますので、適当なフォルダを指定します。下記の例では「C:\TMP」としています。



- ⑨ 設定プログラムセットアップ画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

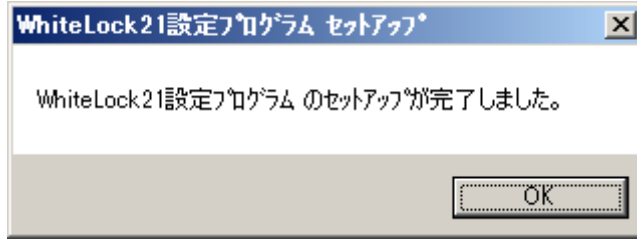


- ⑩ 設定ソフトウェアをインストールするディレクトリを指定してインストールボタンをクリックします。



※インストール先のディレクトリを変更したい場合は、[ディレクトリ変更(C)] ボタンをクリックして変更します。

- ⑪ 設定プログラムセットアップ完了画面です。「OK」をクリックし、パソコンを再起動します。



CD-ROM からインストールする場合

※パソコンを起動し、管理者権限 (Administrator) でログインします。インターネットが利用出来る事を確認し、起動中のアプリケーションを全て終了します。

CD-R をドライブに入れると、自動再生画面が出ます。「フォルダを開いてファイルを表示…」を選択し、「WL21ver1.46.EXE」をダブルクリックします。

14 ページの⑦と同じ画面が表示されます。同じ手順でインストールして下さい。

設定に使用するパソコン

設定を行う場合、以下の仕様のパソコンが必要です。

CPU	66MHz i 486DX 以上 (Pentium 以上を推奨)
OS	日本語 Whindows 7、Whindows 8、Whindows 10
ハードディスク	インストールに 7M バイト程度の空きエリアが必要
メモリ	実装メモリ 64M バイト以上
モニタ	解像度 800×600 ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
ビデオカード	800×600 ドット以上で、256 色以上が表示可能なもの
コミュニケーションポート	COM ポート D-sub9pin が必要 (設定内容を転送する時に使用) ※通信ケーブルは本製品に付属しています

* 記載の無い OS で動作する場合もございます。

* Windows98 /Me /2000 /XP のサポートは終了しました。

* 既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。

* パソコンのコネクタが D-sub25pin の場合は、D-sub25pin → D-sub9pin の変換コネクタを別途ご準備下さい。

* パソコンのコネクタに COM ポートがなく USB ポートしかない場合、USB ポート → D-sub9pin 変換ケーブルを別途ご準備下さい。必ず変換ケーブルに付属されているドライバをインストールしてからご使用下さい。

* 付属している通信ケーブルを本装置と接続するときプラグの固定ネジは絞める必要はありません。また、差し込み時は数ミリしかプラグが入りませんので抜けない様にご注意下さい。

設定ソフトウェアの Windows7 対応について

Windows7 対応のパソコンにシリアルポート (DSUB9 ピン) が付いていない場合は、「USB-シリアル変換アダプタ」が必要です。アダプタが Windows7 対応となっている場合でも、弊社の通報装置では利用できないものもあります。

1. サンワサプライ USB-CVRS9 を使用した場合

Windows7 にドライバをインストールしてテストした場合は、動作不可。

※設定の読み書きができません。(XP 仮想モードを作成して仮想モードにドライバをインストールした場合は動作可)

2. 株式会社コンパス・ラブ US232R-10 を使用した場合

Windows7 にドライバをインストールしてテストした結果、動作可能。

仮想 Windows 環境 (XP 仮想モード) について

Windows7 のマシンに仮想モードがインストールされていない場合は、下記を参考にしてください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windows/dd920318.aspx>

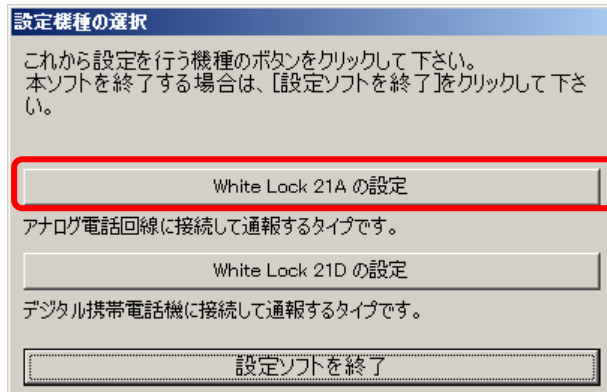
仮想モードのインストールにはパソコンの知識が必要です。

仮想モードがインストールされていない場合は、株式会社コンパス・ラブ US232R-10 を購入したほうが簡単でしょう。

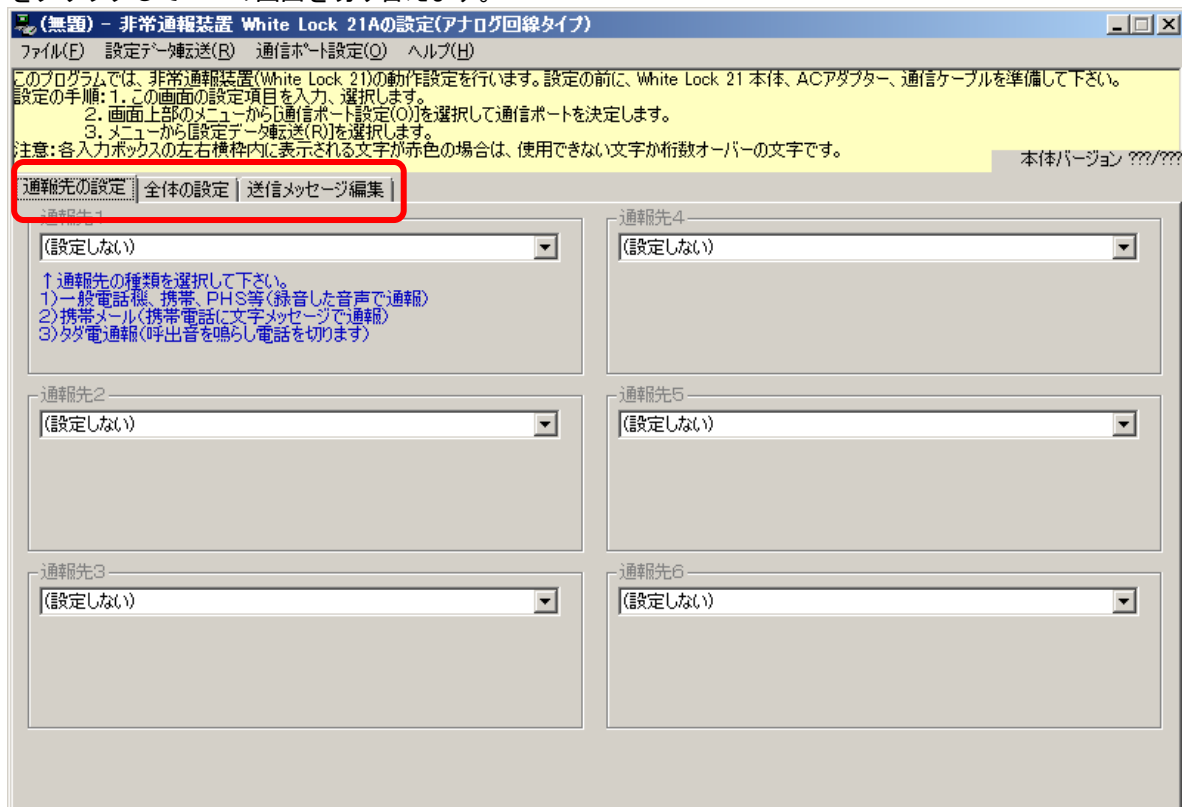
設定ソフトウェアの起動

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]の[WhiteLock21 設定]を選択して設定ソフトウェアを起動して下さい。起動すると下記の「設定機種の選択」画面が表示されます。

「WhiteLock21A の設定」のボタンをクリックします。また、誤って設定ソフトウェアを起動した場合は、「設定ソフトを終了」ボタンをクリックして終了して下さい。



「WL21A」の設定画面は、「通報先の設定」「全体の設定」「送信メッセージ編集」の3つがあります。中央上の「タブ」をクリックして3つの画面を切り替えます。



画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

- * [通報先の電話番号]、[携帯メールセンター] など設定項目が赤い文字で表示されている場合は、必須の入力項目のときか入力に誤りがある場合です。
- * [通報先の設定] タブで通報先に「携帯メール」が選択されていなければ[送信メッセージ編集] タブを選択できません。

通報先の設定

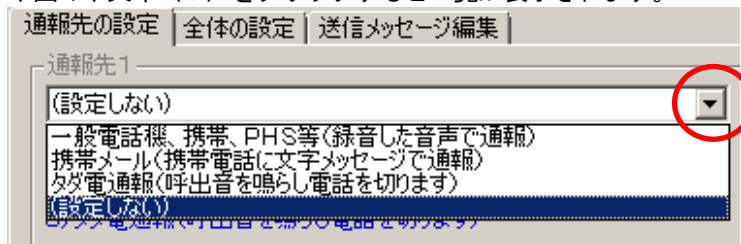
通報先の種別

通報先が最大 6 ヶ所まで指定でき、通報先ごとに通報方法が選択出来ます。

- ・ 録音した音声で通報する場合は、「一般電話機、携帯、PHS 等（録音した音声で通報）」を選択します。
- ・ 携帯電話へ SMS メール通報する場合は、「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
- ・ WhiteLock 集中監視へ通報する場合は、「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
- ・ 「メール送信システム」を利用して E メール通報する場合は、「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
- ・ 呼出音を鳴らしてすぐ電話を切る場合は、「タダ電通報（呼出音を鳴らして電話を切ります）」を選択します。
- ・ 設定しない場合は「（設定しない）」を選択します。

※文字メッセージ通報（SMS メール・WhiteLock 集中監視・メール送信システム）は、どれか 1 つのみご使用出来ます。

下図の下矢印（▼）をクリックすると一覧が表示されます。



通報する順番は通報先 1、通報先 2、通報先 3 … 通報先 6 となります。

全ての通報先を「（設定しない）」にすると、どこにも通報しません。

※初期状態は全て「（設定しない）」になっています。

※通報先 1 から順に設定して下さい。

下記のような設定では、正常動作しないおそれがありますのでご注意ください。

- ・ 通報先 2 以降から設定した場合
- ・ 通報先 1 から最後の通報先までの間に「（設定しない）」を入れた場合

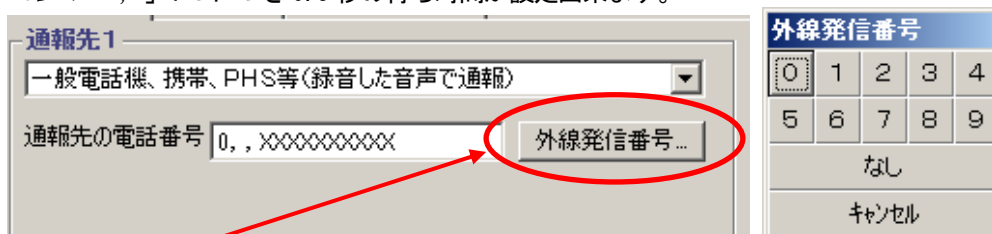
通報先の電話番号

- ・ 通報したい一般回線電話機、携帯電話、PHS の電話番号を入力します。
- ・ 通報先 1 カ所につき最大 24 桁まで入力できます。
- ・ 電話番号に、市外局番が必要な時は必ず入力してください。
- ・ ハイフン（-）は入れず、番号部分のみ入力します。
- ・ PBX 交換機の内線へ通報するときは、内線番号を入力します。
- ・ ダイヤル回線の場合は「#」や「*」は使用できません。
- ・ 発信者番号を通知する場合は、電話番号の先頭に「186」を入力します。

外線発信番号

下図は 0 発信した後、1 秒後に XX-XXXX-XXXX へ音声通報します。

コンマ「,」1 つにつき 0.5 秒の待ち時間が設定出来ます。



「外線発信番号…」ボタンをクリックすると、「外線発信番号」が表示されます。

- ・ 「0」をクリックすると「0, ,」が入力されます。
- ・ 「,」を追加したいときは、「,」を追加 をクリックします。
- ・ 「なし」をクリックすると、入力されたものが削除され増す。
- ・ 「キャンセル」をクリックすると、何も変更せず「外線発信番号」が閉じます。

※外線発信番号をダイヤルした後の待ち時間が 1 秒では足りない場合はコンマ(,)を必要なだけ入力してください。

※コンマ(,) 1 つにつき 0.5 秒待つ待ち時間が長くなります。「0, , , XXXXXXXX」とすると 2 秒の待ち時間になります。

音声通報する場合

音声メッセージで通報する場合、「一般電話機、携帯、PHS等（録音した音声で通報）」を選択します。
下図は音声通報の場合です。XX-XXXX-XXXX へ音声通報します。

下図は通報先に内線番号がある場合です。
XX-XXXX-XXXX へダイヤル後 2 秒後に XXXX（内線番号）へ音声通報します。
コンマ（,）1 つにつき 0.5 秒の待ち時間が設定出来ます。

携帯メール(SMS) 通報する場合

携帯電話機へ SMS メール通報する場合、「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
下図は XXX-XXXX-XXXX へ SMS メール通報します。「携帯メールセンター」をクリックし「携帯メールセンター設定」画面で「ショートメール（NTT ドコモ）」を選択し「OK」をクリックします。

※通報先はドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末に限りです。

※設定後は、必ず通報先で SMS メールの受信を確認して下さい。通報先を変更した場合なども、必ず受信の確認をして下さい。

※通設定後にドコモ回線以外の携帯電話会社へ契約を変更された場合も、通報できなくなります。速やかに設定を削除、もしくは音声通報へ変更して下さい。

※WL21A を接続する電話回線の契約が NTT 以外の場合、SMS センターに接続出来ない場合があります。

注) SMS メールを受信できない通報先に対する、SMS メール通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので、予めご了承下さい。

外線発信番号が必要な場合

外線発信番号が必要な場合は、「携帯メールセンターの設定」の「外線発信番号」で入力します。

PBX（内線交換機）からの発信の場合

ショートメッセージセンターへメッセージを送信する場合、PBX(内線交換機)と一般回線では、電話を掛け始めてから回線に繋がるまでの時間が異なります。その為、PBX(内線交換機)の場合、ショートメッセージセンターが送信メッセージをうまく受け取れないことがあります。

【 確認方法 】

まず実際に、ショートメッセージセンター（0903101655）へ電話を掛けて回線に繋がる時間を計ります。15 秒以内に回線が繋がれば、設定の変更は必要ありません。15 秒以内に繋がらない場合は、20 秒に変更が必要です。

【 設定方法 】

メッセージを送信するタイミングは「携帯メールセンターの設定」で調整します。

「文字列を編集」をクリックすると「手順文字列」が編集出来るようになります。

初期値は「0903101655D2D1D9D2D8##」です。これを「0903101655D2D2D9D2D8##」にすると、ショートメッセージセンター（0903101655）へダイヤル後、15 秒待つ所を 20 秒待つようになります。

「手順詳細」で 10 秒が 20 秒に変更したことが確認出来ます。「OK」をクリックして設定完了です。

※必ず実際に、何度か通報させてみて、きちんと受信されるか確認して下さい。

手順詳細	文字の説明
0903101655をダイヤル 20秒待つ	0～9*#…文字そのものをダイヤルします。
通報先電話番号送信 10秒待つ	…0.5秒待ちます。
メッセージ送信 10秒待つ	D0…1秒待ちます。
##をダイヤル	D1…5秒待ちます。
	D2…10秒待ちます。
	D7…強制切断。
	D8…メッセージを送信します。
	D9…通報先電話番号を送信します。

WhiteLock 集中監視へ通報する場合

下図は WhiteLock 集中監視（トーンモデム）へ通報する場合です。XX-XXXX-XXXX に接続されているトーンモデムへ文字メッセージで送信します。

メール送信システムへ通報する場合

「メール送信システム」を利用すると、Eメール通報が可能です。システムの詳細については、ホームページを参照下さい。

- ・「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
- ・通報先1に設定されることを推奨します。
- ・「全体の設定」の「通報を終了する条件」は「全ての通報先に通報できたら終了」にチェックを入れます。
- ・通報先2以降に音声通報を設定されておくと、メール送信システムの異常時に安心です。

「メール送信システム」をご使用される場合は、ユーザー登録シートによる登録が必要です。

※ユーザー登録シートは、ホームページの「メール送信システム」内にある「利用契約」より「同意してユーザー登録へ」に進みますと、ダウンロード画面が表示されます。

※登録方法は登録シートに記載されています。

注）ユーザー登録されていても発信番号が複数ある場合は、ご使用いただけません。未登録の発信番号からの通報は、エラーとなります。

通報先の種類で「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択してください。

「通報先の電話番号」へは「1860852673441」を登録します。

※2020年12月31日で「05055025281」の電話回線は停止しました。

「携帯メールセンター設定」画面で「ユーザー設定」を選択し、「手順文字列」に「D9D2D1D8##D1D7」と入力します。

通報先1

携帯メール(携帯電話に文字メッセージで通報)

通報先の電話番号 1860852673441 外線発信番号...

携帯メールセンター... (ユーザー設定)

携帯メールセンター設定

携帯メールセンター (ユーザー設定)

手順文字列 外線発信番号...

D9D2D1D8##D1D7

手順詳細	文字の説明
通報先電話番号送信	0~9*#...文字そのものをダイヤルします。
15秒待つ	...0.5秒待ちます。
メッセージ送信	D0...1秒待ちます。
##をダイヤル	D1...5秒待ちます。
5秒待つ	D2...10秒待ちます。
強制切断	D7...強制切断。
	D8...メッセージを送信します。
	D9...通報先電話番号を送信します。

OK キャンセル

携帯メールセンター設定

携帯メールセンター (ユーザー設定)

手順文字列 外線発信番号...

D9D2D2D8##D7

手順詳細	文字の説明
通報先電話番号送信	0~9*#...文字そのものをダイヤルします。
20秒待つ	...0.5秒待ちます。
メッセージ送信	D0...1秒待ちます。
##をダイヤル	D1...5秒待ちます。
強制切断	D2...10秒待ちます。
	D7...強制切断。
	D8...メッセージを送信します。
	D9...通報先電話番号を送信します。

OK キャンセル

※光回線（IP回線）は、ダイヤル発信後に回線が接続されるまで時間がかかる為、正常に動作しない場合があります。その場合「携帯メールセンター設定」画面で「ユーザー設定」を選択し「手順文字列」に「D9D2D2D8##D7」と入力します。

注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

タダ電通報する場合

下図はタダ電通報の場合です。XX-XXXX-XXXX へ発信者番号通知でタダ電通報します。

通報先1

タダ電通報(呼出音を鳴らし電話を切ります)

通報先の電話番号 外線発信番号...

全体の設定

全体の設定は2つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

通報先の設定 **全体の設定** | 送信メッセージ編集 |

通報を終了する条件

☒ 全ての通報先に通報できたら終了

☐ 通報先の何所か1ヵ所に通報できたら終了

☐ 停電や復電時に通報する

解除呼出の方法

☐ 全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います

☐ 各入力信号が解除する度に解除呼出を行います

☒ 解除呼出を行わない

入力信号の接点仕様

☐ 入力信号1

☐ 入力信号2

☐ 入力信号3

☐ 入力信号4

☐ 入力信号5

☐ 入力信号6

☐ 入力信号7

☐ 入力信号8

チェックを入れると外部入力OFFのときに入力ありと判断します

☐ **テレコン**

パスワード 入力信号の確認とテレコンコマンドの為にパスワードを数字4桁で設定します

出力信号をONにする為のコマンドを数字4桁で設定します	出力信号をOFFにする為のコマンドを数字4桁で設定します
出力1 ON 0001	出力1 OFF 0005
出力2 ON 0002	出力2 OFF 0006
出力3 ON 0003	出力3 OFF 0007
出力4 ON 0004	出力4 OFF 0008

☐ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する(Ver1.05以上)

通報先を終了する条件

通報先が1ヵ所の場合は、設定ができません。

※「メール送信システム」を設定している場合は、「全ての通報先に通報できたら終了」を選択して下さい。

通報を終了する条件

☒ 全ての通報先に通報できたら終了

☐ 通報先の何所か1ヵ所に通報できたら終了

・全ての通報先に通報できたら終了

設定した全ての通報先への通報が終了するまで、ダイヤルを続けます。

・通報先の何所か1ヵ所に通報できたら終了

設定した通報先の1ヵ所でも通報できると通報を終了します。

* 詳しくは37ページの「複数の通報先を終了する条件」を参照してください。

停電や復電時に通報する

□内にチェックを付けると停電や復電時に通報するようになります。
詳細説明は36ページの「停電時発信」をお読みください。

☒ 停電や復電時に通報する

解除呼出の方法

入力信号が「警報解除」の状態になったとき（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）に通報する方法を選択します。

呼出方法についての詳細説明は34ページの「呼出の種類と通話時間」をお読みください。

解除呼出の方法

- ☐ 全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います
- ☐ 各入力信号が解除する度に解除呼出を行います
- ☒ 解除呼出を行わない

※「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」は**通報先がすべて携帯メール**の場合に選択できます。1ヶ所でも音声通報かタダ電通報があれば選択できません。

※「全ての入力信号が解除」の状態は、入力信号の接点仕様に準じます。

入力信号の接点仕様

各入力信号の接点仕様を設定します。

□内チェックを入れないと、a 接点仕様になります。

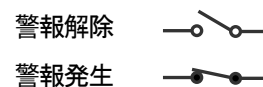
□内チェックを入れると、b 接点仕様になります。

入力信号の接点仕様

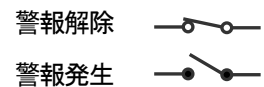
- ☐ 入力信号1
- ☐ 入力信号2
- ☐ 入力信号3
- ☐ 入力信号4
- ☐ 入力信号5
- ☐ 入力信号6
- ☐ 入力信号7
- ☐ 入力信号8

チェックを入れると外部入力OFFのときに入力ありと判断します

チェックしない



チェックする



・「警報発生」のときに短絡する信号を出力する場合はチェックを入れません。
(a 接点/ノーマル・オープン接点/メイク接点など)

・「警報発生」のときに開放する信号を出力する場合はチェックを入れます。
(b 接点/ノーマル・クローズ接点/ブレーク接点など)

※初期値ではチェックは付いていません。(a 接点)

※本体の入力信号モニタランプは、**外部信号が短絡した時に点灯します。**

※b 接点（チェックを入れた場合）の警報発生時の入力信号モニタランプは消灯状態です。警報解除時に点灯します。

電源 ON 時に 60 秒間、入力信号を無視する

□内にチェックを付けると、電源スイッチを入れたときに 60 秒間 LP1 (黄) が低速点滅します。

この間、入力信号が警報状態（または解除）になっても通報しません。着信もしません。（本体バージョン 1.05 以降）

※「検知センサーCM-02」を使用される場合はチェックを入れてください。

☒ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する(Ver 1.05以上)

テレコン

テレコンを使用するにはここにチェックを付けます。

チェックを外すと本装置に電話をかけても着信しません。テレコンを使用しない場合はチェックを外してください。

パスワードの欄には、認証に必要なパスワードを0～9の数字4桁で指定します。

出力信号をON、OFFにする為の出力コマンドを0～9の数字4桁で指定します。全てのコマンドはそれぞれ違う4桁の数字を指定します。

※同じコマンドがあるとエラーとなります。

※出力信号を使用しない場合でも、全てのコマンドを設定してください。

※テレコンについての詳細説明は39ページの「テレコン」をお読みください。

送信メッセージの編集

送信メッセージの編集は3つ目のタブをクリックすると表示される画面で行います。設定するメッセージが、それぞれの通報先へ送信されます。文字メッセージ通報の種類によって、文字の種類や使用出来る文字が異なりますのでご注意ください。

※使用出来ない文字を入力した場合、正常に通報出来ません。

※メッセージ内容が1種類しか入力出来ない為、文字メッセージ通報（SMS・WhiteLock 集中監視・メール送信システム）はどれか1つのみご使用出来ます。

携帯メール(SMS) 通報する場合

SMS メールで送信出来る文字数は、半角全角にかかわらず 50 文字です。

文字の種類は「ショートメール (半角全角 50 文字)」を選択して下さい。

※文字の種類には「スカイメール」や「スカイメッセージ」の表示がありますが、サービス終了の為ご使用頂けません。

文字の種類

ショートメールで送信できる文字数は半角全角にかかわらず50文字です。半角文字では大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。小さいカタカナ「アイウエオヨツ」は使用できません。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。

識別コードには、場所や機器の名前を入れます。識別コードの後に「）」が自動的に付きます。

※「フリーメッセージ」と「区点コード」が使用できます。

※全角文字・小さいカタカナ「アイウエオヨツ」は使えません。

※下記設定例は、「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「解除呼出を行わない」にチェックを付けた場合です。

識別コード

入力信号1

それぞれのメッセージを入力すると、カーソル位置のメッセージ受け取りイメージが、「表示サンプル」に表示されます。

表示サンプル

×% 

ホワイトロック 21 A)

入力1 ON

* 「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けた場合は、「警報発生」の時は「ON」が、「警報解除」の時は「OFF」がメッセージの後ろに自動的に付きます。

* 「表示サンプル」で確認しながら、各メッセージの設定を行って下さい。

WhiteLock 集中監視へ通報する場合

送信できる文字数は半角 21 文字です。大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。

文字の種類は「ショートメール (半角全角 50 文字)」を選択して下さい。

文字の種類

ショートメールで送信できる文字数は半角全角にかかわらず50文字です。半角文字では大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。小さいカタカナ「アイウエオヨツ」は使用できません。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。

複数の WhiteLock (通報装置) から通報を受信した時に、通報元を特定する為に使用します。

全角や、小さいカタカナが入っていると、トーンモデムが受信出来ませんのでご注意下さい。

(×ニウリヨク ○ニウリヨク)

識別コード

入力信号1

入力信号2

* 全角文字・小さいカタカナ「アイウエオヨツ」は使えません。

* 上記設定例は、「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「解除呼出を行わない」にチェックを付けた場合です。

* 「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けた場合は、「警報発生」の時は「ON」が、「警報解除」の時は「OFF」がメッセージの後ろに自動的に付きます。

「表示サンプル」で確認しながら、各メッセージの設定を行って下さい。

メール送信システムへ通報する場合

文字の種類は「ショートメール（半角全角 50 文字）」を選択して下さい。

文字の種類

ショートメールで送信できる文字数は半角全角にかかわらず50文字です。半角文字では大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。小さいカタカナ「アイウエオヨツ」は使用できません。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。

「識別コード」へ弊社より指定するコード3桁を登録して下さい。

半角大文字にて、下記の通りに入力します。

※全角や下記以外の内容を入力しますと、システムが正常に動作しません。

識別コード	弊社から指定するコード3桁を入力します
入力信号1	IN1
入力信号2	IN2
入力信号3	IN3
入力信号4	IN4
入力信号5	IN5
入力信号6	IN6
入力信号7	IN7
入力信号8	IN8
全解除	KAIJYO
停電	TEIDEN
復電	FUKUDEN

* 「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けた場合は、「警報発生」の時は「ON」が、「警報解除」の時は「OFF」がメッセージの後ろに自動的に付きます。

識別コード	弊社から指定するコード3桁
入力信号1	IN1 ON
入力信号2	IN2 ON
入力信号3	IN3 ON

* 「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていない場合は、上図のように「IN1 スペース（半角）ON」と入力して下さい。

入力信号 1～8

各入力信号が「警報発生」した時に、該当する入力信号のメッセージ内容が送信されます。

また、「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを付けている場合、「警報発生」の時は「ON」が、「警報解除」の時は「OFF」がメッセージの後ろに自動的に付きます。このときの最大文字数は4文字少なくなります。

全解除

「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。

停電・復電

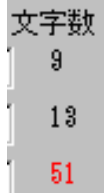
「全体の設定」の「停電や復電時に通報する」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。

文字数

メッセージを入力すると現在の文字数が、全角1文字、半角1文字として数えた数が表示されます。

「識別コード」が設定されていれば、その分の文字数も数えられます。数字が赤く表示された場合は文字数がオーバーしている状態です。

「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていた場合、メッセージの後ろに「ON」または「OFF」が付くため、最大文字数は通常の文字数より4文字少なくなります。



テスト文字列設定

テスト文字列設定

このボタンをクリックすると未入力のメッセージに全角のメッセージが設定されます。

動作チェックをするときに簡単にメッセージを設定できます。

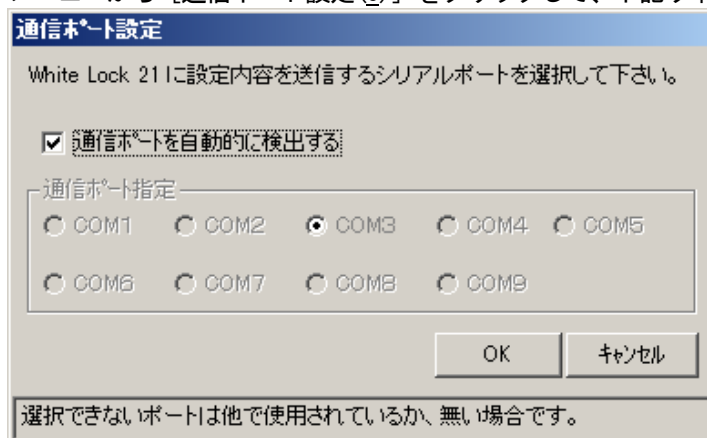
※携帯メール(SMS) 通報でしか使用できません。

	表示される全角文字
識別コード	テスト
入力信号 1	入力信号 1
入力信号 2	入力信号 2
入力信号 3	入力信号 3
入力信号 4	入力信号 4
入力信号 5	入力信号 5
入力信号 6	入力信号 6
入力信号 7	入力信号 7
入力信号 8	入力信号 8
全解除	全解除
停電	停電
復電	復電

通信ポートの確認

設定内容を転送する時に使用する通信ポートを選択します。

メニューから「通信ポート設定(0)」をクリックして、下記ウィンドウを開きます。



通信ポートを自動的に検出する

「WL21A」に接続されている通信ポートを探して転送を行います。通常はここにチェックを付けておいてください。

通信ポート指定

「通信ポートを自動的に検出する」で転送が失敗する場合、チェックを外して「WL21A」が接続されている通信ポートを選択してください。

使用出来ない通信ポートがあれば薄色で表示されて選択できない状態になります。転送に使用する通信ポートをマウスで選択したら、[OK] ボタンをクリックします。

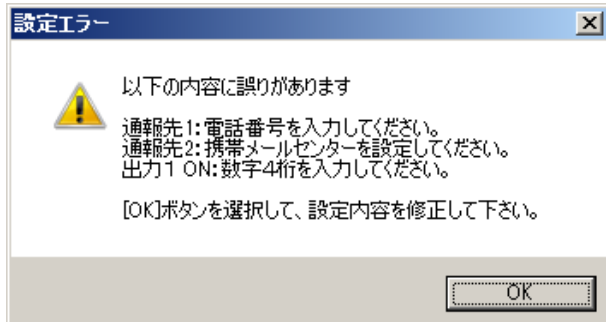
本体とパソコンの接続

付属の「通信ケーブル」で WL21A とパソコンを接続します。WL21A 側は「初期設定設定コネクタ」へ、パソコン側は「|0|0|」のマークがあるコネクタに接続します。

設定内容の転送

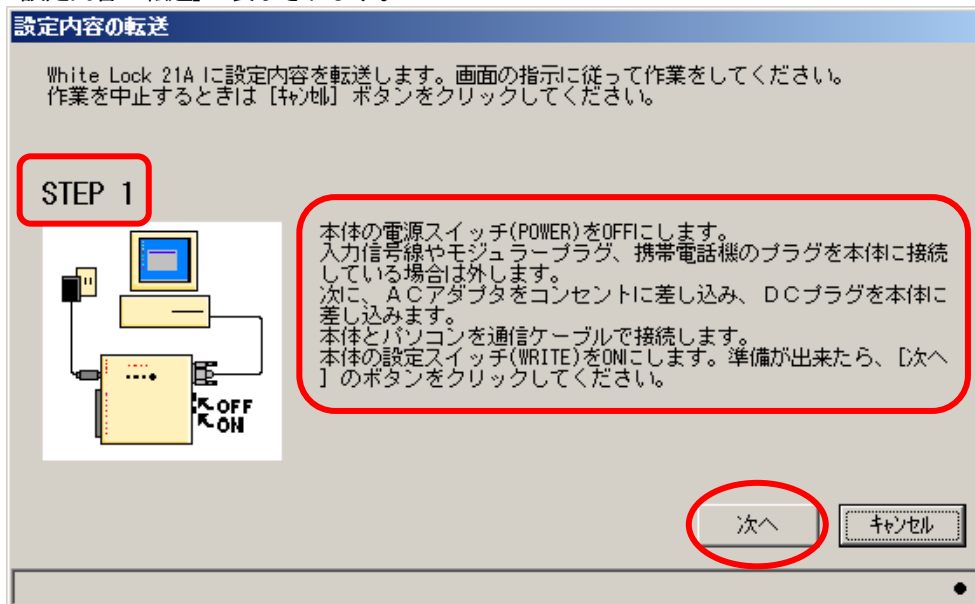
設定画面で入力完了したら、メニューから「設定データ転送(R)」を選択して下さい。

設定画面で、入力エラーがある場合は、下図のようなメッセージが表示されます。



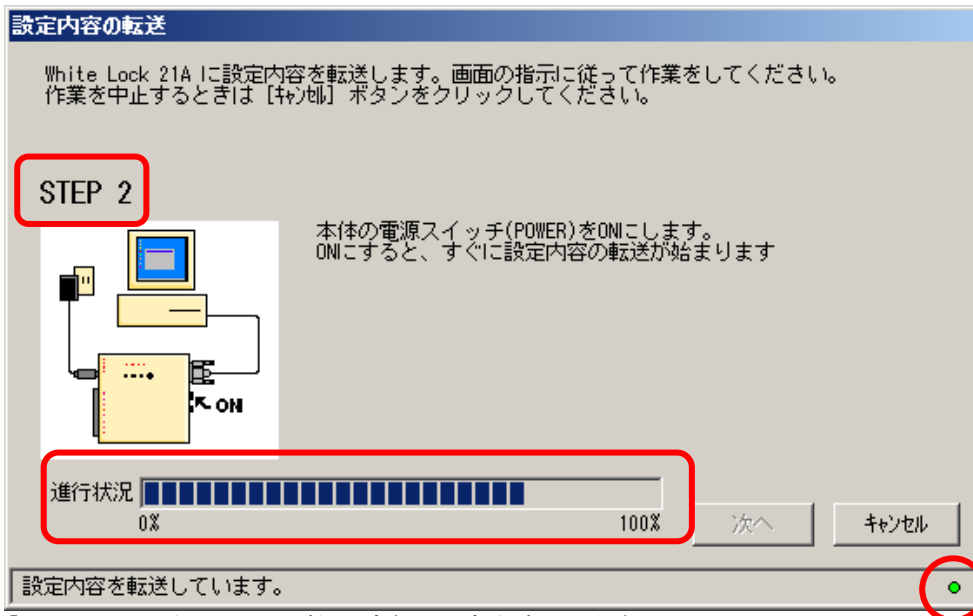
[OK] ボタンをクリックして、誤りが見つかった所を修正してから再度「設定データ転送(R)」を選択して下さい。

「設定内容の転送」が表示されます。



「STEP1」画面に表示される説明に従って、AC アダプタと通信ケーブルを接続し、本体の「設定」スイッチを ON にしてから「次へ」のボタンをクリックします。

※必ず AC アダプタから電源供給をしながら転送して下さい。



「STEP2」画面で右下の黒丸が緑に変わった事を確認します。

※ここで緑に変わらない場合は COM ポートが合っていない為、転送が出来ません。61ページを参照して下さい。

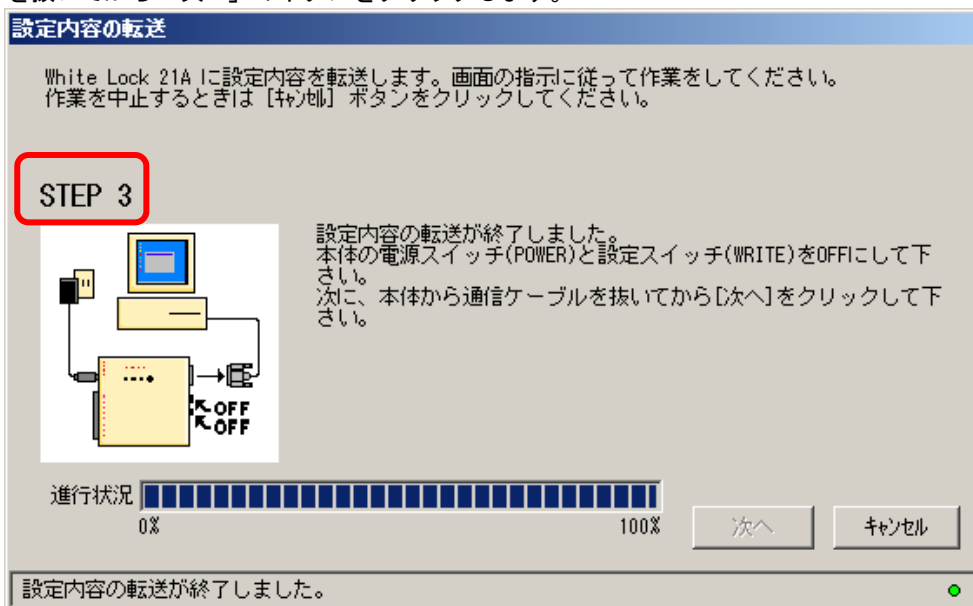
本体の電源を ON にすると、自動的にデータの転送が開始され、進行状況が表示されます。

※電源スイッチを ON にしても進行状況が表示されない場合は、転送がうまくいかない状態です。61ページを参照下さい。

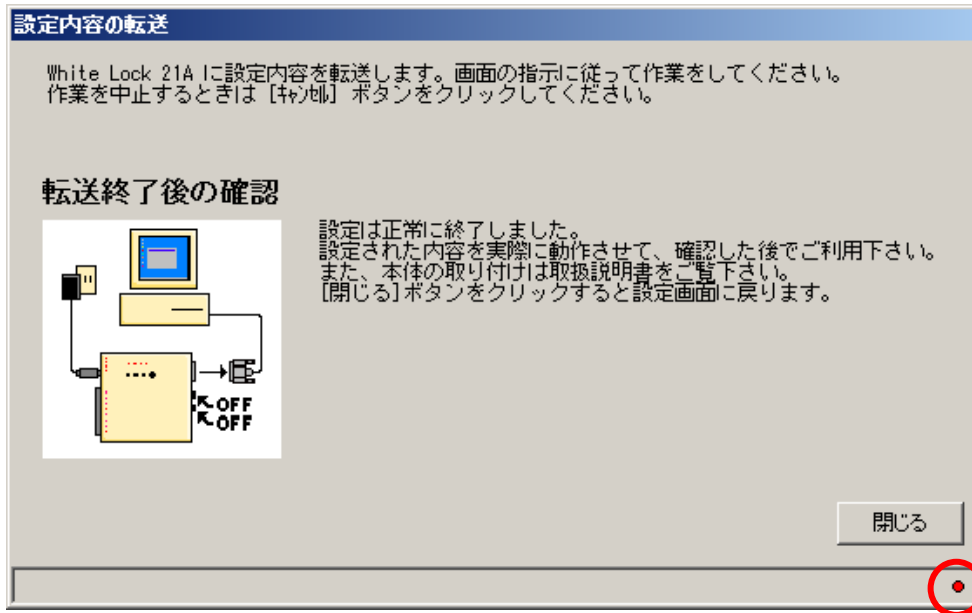
※USB 変換ケーブルを使用されている場合は、変換ケーブルのドライバがインストールされているかご確認下さい。ドライバがインストールされていないと、転送出来ません。

※進行状況が 100% になるまでは、電源スイッチを切ったり、通信ケーブルを抜いたりしないで下さい。

転送はすぐに終わり「STEP3」画面になります。設定スイッチと電源スイッチを OFF にします。通信ケーブルのコネクタを抜いてから「次へ」のボタンをクリックします。



「転送終了後の確認」画面が表示されます。

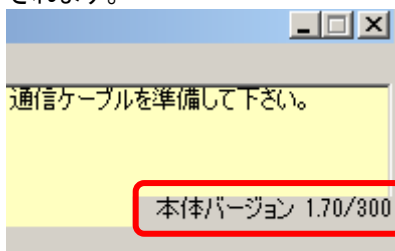


通信ケーブルを本体から外すと緑から赤へ変わります。

「閉じる」をクリックすると転送作業が終了し、元の画面に戻ります。

本体バージョンの確認

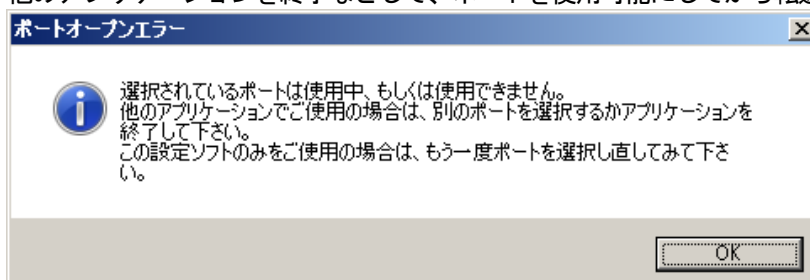
設定内容を転送した時や、本体から設定内容を読み込んだ時は、設定画面（右上辺り）に WL21A 本体バージョンが表示されます。



ポートが使用中だった場合

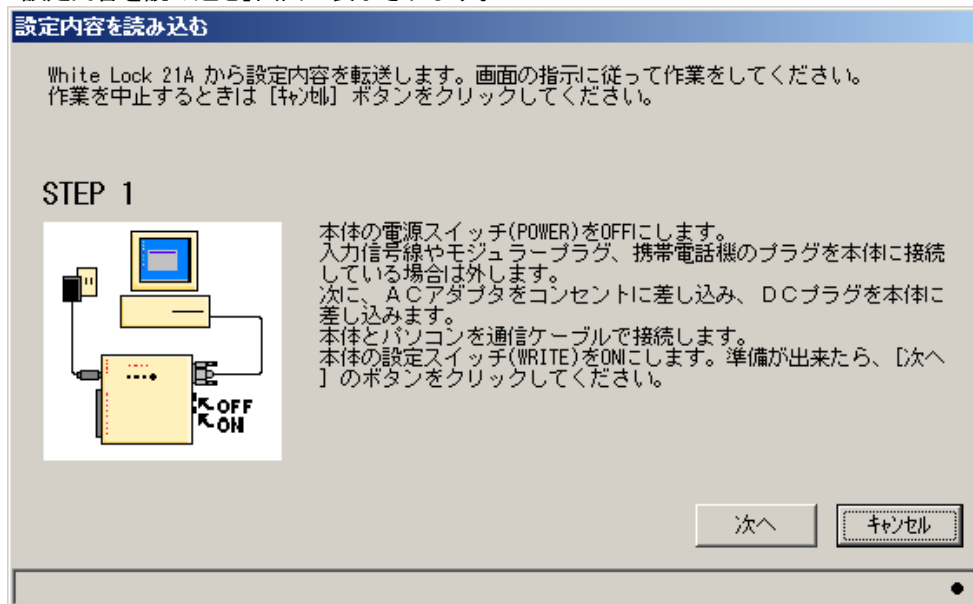
選択されたポートが他のアプリケーションで使用中だった場合、以下のダイアログが表示されます。

他のアプリケーションを終了などして、ポートを使用可能にしてから転送してください。



本体から設定内容を読み込む

本体に現在保存されている設定を読み込みます。本体が、どのような設定になっているか確認することができます。
「ファイル(F)」メニューの「本体から設定を読み込む(R)…」を選択してください。
「設定内容を読み込む」画面が表示されます。

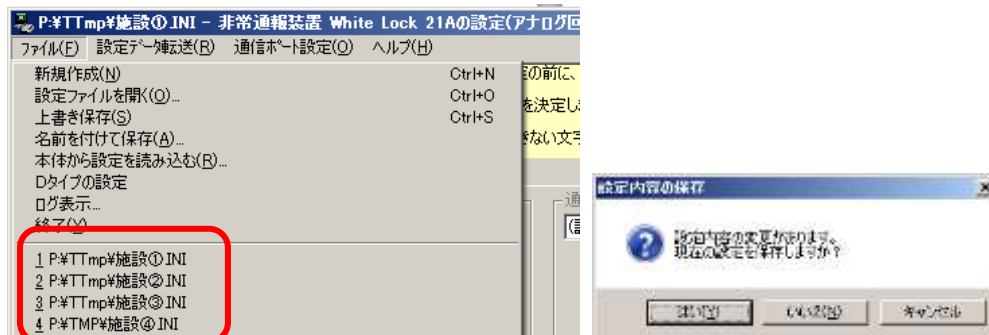


後は、画面の指示に従って操作をして下さい。手順は「設定内容の転送」と同じです。転送終了後、本体から読み込んだ設定が画面に表示されます。

※「送信メッセージ編集」タブの「文字の種類」の設定は本体に保存されていないため、読み込むことはできません。読み込んだ後で適当な値に設定してください。

設定内容の保存と読み込み

設定内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりするにはメニューの「ファイル(F)」から行います。



以前に編集したファイル

過去に開いたファイルの履歴を 10 個まで表示します。表示されているファイルを選択すると、そのファイルを開きます。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

新規作成

全ての設定項目を初期状態にします。通報先は全て「(設定しない)」で送信メッセージも全て未設定にします。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

設定ファイルを開く

保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)]メニューの「設定ファイルを開く(O)」を選択し、開きたい設定ファイルを選択して[開く(O)]ボタンをクリックします。

現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

上書き保存

既に開かれているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)] メニューの [上書き保存(S)] を選択します。

名前を付けて保存

設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前をつけて保存(A)] を選択します。

本体から設定を読み込む

30ページを参照してください。

Dタイプの設定

Dタイプの設定画面切り替わります。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

※Dタイプ WhiteLock は使用電波が停波している為、ご使用頂けません

終了

設定ソフトを終了します。

録音再生

録音再生の概要

音声録音は16の録音チャンネルが用意されています。各チャンネルを録音し、通報時はこれらを組み合わせて再生されます。各チャンネルの録音時間は最大10秒となります。

- ・音声通報を使用する場合は、チャンネル0～9・A～Bを録音してください。
- ・テレコンを使用する場合は、チャンネルC～Fを録音してください。

録音する内容

録音チャンネル0	設置した場所や機械装置などの名前が解るような内容を録音します。 例：「こちらは××です。」「◎◎からのお知らせです。」
録音チャンネル1～8	各入力信号1～8に対応した通報内容を録音します。 例：「〇〇の警報が発生しました。」「〇〇の故障が発生しました。」
録音チャンネル9	全入力が解除したときに通報する内容を録音します。 例：「全ての警報は解除しました。」「全ての故障は解除しました。」
録音チャンネルA	停電が発生した際に通報する内容を録音します。 例：「停電が発生しました。」「外部電源装置が故障しました。」
録音チャンネルB	復電したときに通報する内容を録音します。 例：「復電しました。」「外部電源装置が復帰しました。」
録音チャンネルC	パスワード入力を促す内容を録音します。 例：「パスワードを入力し、状態確認は#を、テレコンの時は*#を押してください。」
録音チャンネルD	パスワードが一致しなかった時の内容を録音します。 例：「一致しません。もう一度。」
録音チャンネルE	コマンド入力を促す内容を録音します。 例：「コマンドを入力し、最後に#を押してください。」
録音チャンネルF	コマンドを受け付けた内容を録音します。 例：「受け付けました。」

通報例（通常通報のとき）**入力信号が「警報発生」になったとき**

「こちらは××です。〇〇の警報が発生しました。」
 「◎◎からのお知らせです。〇〇の故障が発生しました。」

全入力が「警報解除」になったとき

「こちらは××です。全ての警報は解除しました。」
 「◎◎からのお知らせです。全ての故障は解除しました。」

停電が発生したとき

「こちらは××です。停電が発生しました。」
 「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が故障しました。」

復電したとき

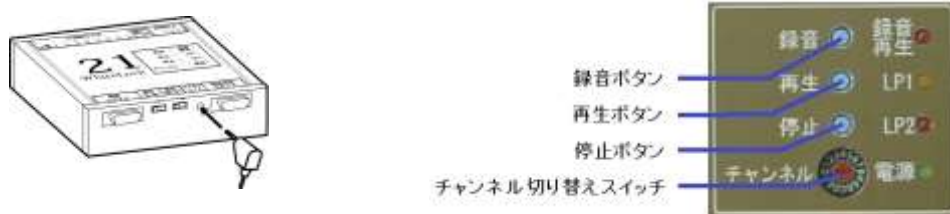
「こちらは××です。復電しました。」
 「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が復帰しました。」

録音再生の操作方法

録音は、付属のイヤホンマイクを本体側面のイヤホンジャックに挿し込んで行います。

※録音再生をするときは、必ず AC アダプタを接続して下さい。イヤホンマイクと AC アダプタ以外は繋げないで下さい。
 ※大きな声で録音すると、再生音がひずむ場合がありますが、通報された電話機で聞くときはひずむことはありません。
 音量の調整は出来ませんので実際に通報を受けてご確認ください。
 ※音量調整ボリュームはありませんので、録音する音量で調整してください。各チャンネルの説明を読んで適当な内容を録音再生して確認してください。

録音再生モードへの切り替えは、「設定スイッチ」を ON にしてから「電源スイッチ」を ON にします。既に電源スイッチが ON のときは一度 OFF にして、設定スイッチを ON にしてから電源スイッチを ON にします。



- 最初に録音するチャンネルを「チャンネル切り替えスイッチ」で選択します。
スイッチを録音したいチャンネルにあわせませす。小さいマイナス、プラスドライバーで回してください。矢印の指している番号が現在のチャンネルになります。
- 録音ボタンと停止ボタンを同時に押します。
録音状態になると、録音再生(赤)とLP2(赤)が点灯します。
- イヤホンマイクに録音する内容をお話してください。
録音再生(赤)とLP2(赤)が点灯してから 10 秒が経過すると、どちらも消灯し録音が終了します。
※任意の位置までで、録音を停止させたいときは停止ボタンを押します。
- 再生ボタンを押すと、イヤホンから録音内容が再生されます。
再生中は、録音再生(赤)とLP1(黄)が点灯します。録音の途中で停止させた場合は、その位置までが再生されます。

※録音再生が終了したら、必ず「チャンネル切り替えスイッチ」を 0 にして下さい。
 慣れてくれば無音の状態が少なく録音できるようになります。

設定スイッチを ON にしてから電源スイッチを ON にしたときのクリック音について

音声録音再生やパソコンによる設定を行う際に電源スイッチを ON にしたとき、クリック音や短いトーンが聞こえることがありますが、異常ではありません。

動作確認

WL21A の設定が終了しましたら、設定した内容通りに動作するか、必ず確認して下さい。

- ① 「電源スイッチ」と「設定スイッチ」を OFF にします。
- ② AC アダプタの電源プラグを WL21A の「DC IN」に接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。接続方法は「AC アダプタの接続」44ページの説明をご覧ください。
- ③ 付属のモジュラーケーブルで電話回線と WL21A の「回線」へ接続します。接続はカチッと音がして完全に差し込まれていることを確認してください。
- ④ 「チャンネル切替スイッチ」が「0」になっていることを確認します。
- ⑤ 「設定スイッチ」が OFF になっていることを確認してから、「電源スイッチ」を ON にします。
「設定スイッチ」が ON になっていたら OFF にしてから「電源スイッチ」を ON にします。
- ⑥ 各入力信号の端子と、共通端子をリード線等で結線させ通報させます。
 - 音声通報・・・通報先に電話がかかり、音声メッセージが流れるか確認します。
 - メール通報・・・通報先にメールが届いたか、内容を確認します。
 - タダ電通報・・・通報先で呼出音が鳴ってから、呼出音が数回で切れるか確認します。

呼出の種類と通話時間

通報の種類

通報には「音声通報」「携帯メール(SMS)通報」「WhiteLock 集中監視へ通報」「メール送信システム」「タダ電通報」の5種類があります。

※文字メッセージ通報は、「携帯メール(SMS)通報」「WhiteLock 集中監視へ通報」「メール送信システム」のどれかひとつになります。

音声通報

音声通報は、一般電話、携帯電話、PHS 等へお客様がご自分で録音した音声で通報します。

携帯メール(SMS)通報

SMS (ショートメッセージサービス) メールで携帯電話へ通報します。文字メッセージ内容は、設定ソフトで設定します。

※通報先はドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末に限ります。

WhiteLock 集中監視へ通報

WhiteLock 集中監視へ通報は、弊社製品のトーンモデム (WhiteLock 集中監視) へ文字メッセージで通報を行います。トーンモデムをパソコンに接続し、複数の通報を集中監視することができます。

メール送信システムによる E メール通報

メール送信システムを利用した、E メール通報です。システムを利用するには、ユーザー登録が必要です。

注) 設定内容が間違っている場合、通報動作を繰り返し多額の通信料が発生する恐れがありますので、ご注意ください。
必ず動作テストを行い、全ての通報先でメールが受信する事を確認して下さい。

タダ電通報

タダ電通報は、一般電話、携帯電話、PHS の呼出音を鳴らして電話を切ります。呼出音を鳴らすだけなので通話料金はかかりません。通報先は着信履歴を確認後、テレコンを使って入力信号の状態を確認する事が出来ます。通報先が電話に出た場合でも「WL21A」はすぐ電話を切ります。この場合通話料金がかかってしまいます。

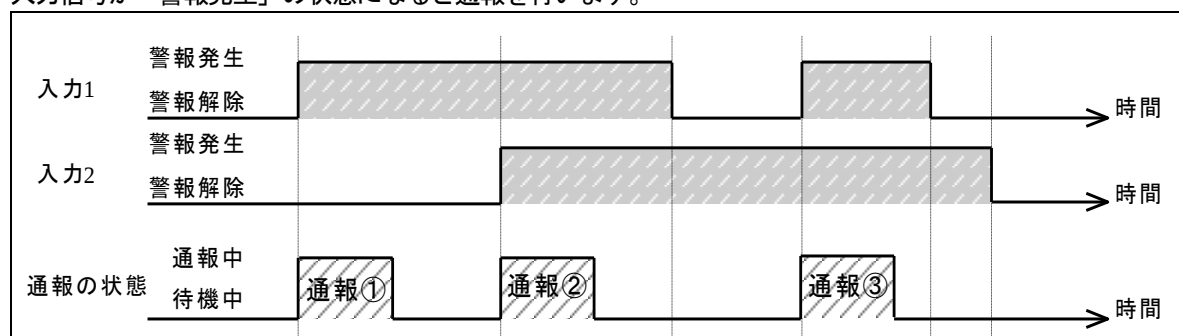
注) 電話機によっては、呼出音を鳴らさずに電話を取る場合があります。たとえば、留守番電話サービスやドライブモードなどです。その場合も料金が掛かってしまいますのでご注意ください。

1 回の通報にかかる通話時間

- 「音声通報」の場合は、受信側が受話器を上げている時間によって異なります。但し、通報 1 回当たり最大 120 秒を過ぎると自動的に電話を切ります。
※この場合、通報が正常に終わっていないものと判断し、リダイヤルします。
- 「携帯メール(SMS)通報」の場合は、送信するメッセージ文字数により通話時間が変わります。10 文字の全角文字メッセージを送信する場合、通報開始より 40 秒程度です。
- 「WhiteLock 集中監視へ通報」の場合は、文字数により通話時間が変わります。半角 1 文字送信するのに 1 秒かかります。10 文字の全角文字メッセージを送信する場合は、電話をかけたり、切ったりする時間を含めて 40 秒程度です。
- 「メール送信システムへ通報」の場合は、弊社サーバーまでの通話時間になります。1 つの通報についての通話時間は、28 秒以下です。
- 「タダ電通報」の場合は、呼出音を鳴らすだけなので通話料はかかりません。

標準設定の時

入力信号が「警報発生」の状態になると通報を行います。



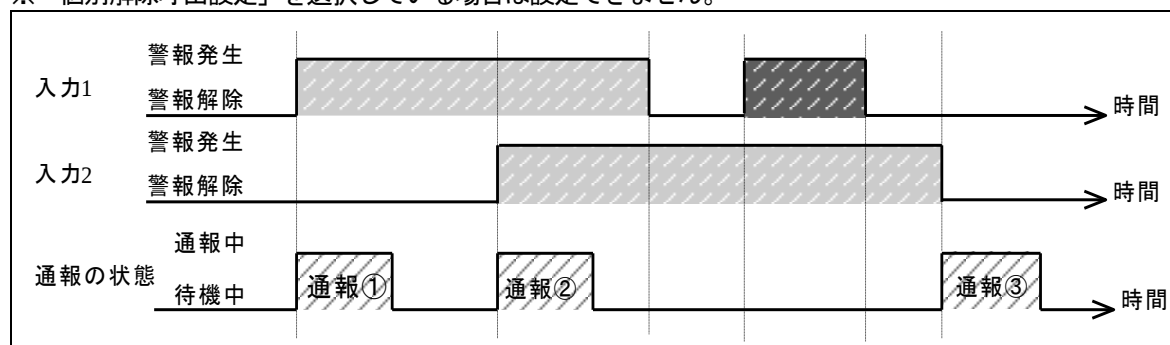
1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 通報しない (個別解除呼出の設定がしていないとき)
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報③)
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 通報しない (個別解除呼出の設定がしていないとき)
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 通報しない (全解除呼出の設定がしていないとき)

全解除呼出設定

「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、全ての入力信号が「警報解除」の状態になると「全解除通報」を行います。

※通報開始より「全解除通報」までの間、既に通報済みの入力信号の「警報発生」は通報しません。全ての入力信号が「警報解除」になった後に「警報発生」になると通報します。

※「個別解除呼出設定」を選択している場合は設定できません。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 通報しない
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報しない (通報を行ってから「全解除通報」していないため)
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 通報しない
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 全解除通報する (通報③)

個別解除呼出

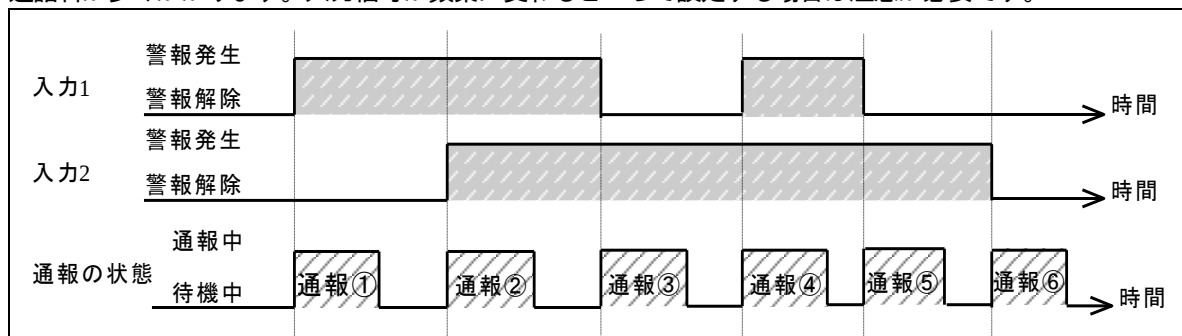
「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、各入力信号が「警報解除」の状態になると「個別解除呼出」を行います。

※全ての通報先が、文字メッセージ通報（携帯メール・WhiteLock 集中監視・非常通報メール）の場合に「個別解除呼出」の設定が出来ます。

※メッセージの後へそれぞれ「ON」や「OFF」が自動的に付加されます。

※「全解除呼出設定」を選択している場合は設定できません。

注）この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が高い場合は通話料が多くかかります。入力信号が頻繁に変わるところで設定する場合は注意が必要です。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報①）
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する（通報②）
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報③）
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報④）
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報⑤）
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報⑥）

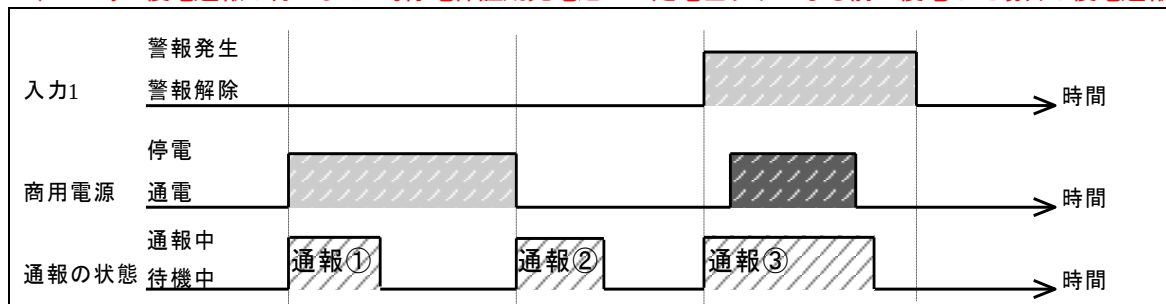
停電時発信

「停電や復電時に通報する」にチェックを入れた場合、商用電源からの電源供給が無くなった時に「停電通報」を、商用電源が復電した時に「復電通報」を行います。

※「携帯メール通報」「WhiteLock 集中監視」「メール送信システム」の場合、停電時のメッセージ、復電時のメッセージとなります。

※停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

注）停電通報後、停電保証用充電電池の残量が一定電圧以下になると、本体は停止します。復電時に本体は再起動しますが、この時の復電通報は行いません。停電保証用充電電池が一定電圧以下になる前に復電した場合は復電通報を行います。



1. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報する（通報①）
2. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報する（通報②）
3. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報③）
4. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報しない（入力信号 1 の通報中のため）
5. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報しない（停電通報を行っていないため）

通報終了の条件

1つの通報先を終了する条件

それぞれの通報先で通報が終了したと判定される条件。

- **音声通報**の場合、通報先が電話に出て 120 秒以内に電話を切ると、その通報先への通報は終了となります。（WL21 は **30 秒以内**に電話に出ないとき、一旦電話を切ってかけ直す動作をします。）
 ※通報先が話中の場合、リダイヤルします。
 ※通報先が携帯電話の場合、圏外や電源OFF、ドライブモードに設定されている時もリダイヤルします。
 ※通報先が留守番電話など自動的に受話器を上げるものは、120秒以内に通話が終了した時点で通報出来た事になります。
 ※通報先が携帯電話機で、一定時間内に電話に出ないと「おかけになった電話を呼び出しましたがお出になりません。」とのアナウンスが流れる場合は、正常終了しますのでご注意ください。
 ※PBX（内線交換機）で電話を切ったあとの話中音の周波数が違う為、通報を終了出来ない場合に、#を押すことで通報終了とさせることができます
- **タダ電通報**の場合、WL21A が呼出音を確認できたら、その通報先への通報は終了となります。通報先の呼出音が鳴る回数は不定です。
 ※通報先が話中の場合、リダイヤルします。
 ※通報先が携帯電話の場合、圏外や電源 OFF、ドライブモードに設定されている時もリダイヤルします。
- **携帯メール(SMS) 通報**の場合、ショートメッセージセンターが電話に出て、文字メッセージを預かった後、電話が切れると終了となります。
- **メール送信システム**の場合、サーバーがメッセージ内容を受け取ると終了となります。

複数の通報先を終了する条件

- 通報する順番は通報先1～6の順番に行います。
- 全ての通報が終了するまで通報先1～6を繰り返し行います。
- 通報が終了した通報先には通報しません。順番を飛ばします。
- 通報先が話中、圏外などで通報が成功しなかった場合は、次の通報先を試みます。

複数の通報先を設定した場合

「**全ての通報先に通報できたら終了**」を選択したとき

設定した全ての通報先への通報が終了するまで、ダイヤルを続けます。

通報先がいつも話し中や電話が繋がらない場合は、繰り返しダイヤルします。この間、新たに発生した通報は行いませんのでご注意ください（38ページに詳細あり）。

「**通報先のどれか1ヵ所でも通報できたら終了**」を選択したとき

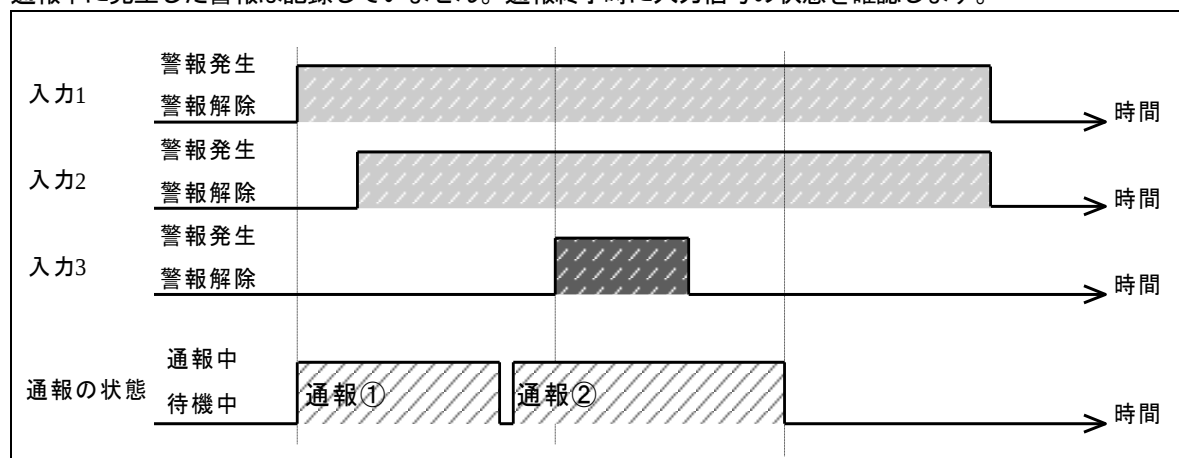
設定した通報先の1ヵ所でも通報できると通報を終了します。

但し、通報先が留守番電話(留守番電話サービスも含む)など自動的に受話器を上げるものは、120 秒以内に通話が終了した時点で通報完了としますのでご注意ください。

また、通報先が携帯メールの場合も同様に通報完了とみなしますのでご注意ください。

通報を終了するまでに発生した警報

通報中に新たに発生した警報は、現在の通報が設定通りに終了しない限り通報を開始しません。
 通報中に発生した警報は記録していません。通報終了時に入力信号の状態を確認します。



1. 入力信号 1 「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号 2 「警報発生」… 通報①が終了後に通報する（通報②）
3. 入力信号 3 「警報発生」… 通報しない（通報②が通報中に発生し解除したため）

テレコン

入力信号の状態を確認するとき

WL21A を接続している一般電話回線に電話をかけて、現在の入力信号の状態を音声で確認することができます。（設定ソフトで「テレコン」にチェックを入れた場合）

※本体バージョン 1.09 までの場合はメッセージ再生中にプッシュボタンを押すとメッセージが止まってプッシュボタンの入力を待ちます。

※本体バージョン 1.70 以降の場合はメッセージ再生中にプッシュボタンを受け付けません。メッセージが終わった無音時間にプッシュボタンの入力を始めてください。

入力信号の状態を音声で聞く

（※設定ソフトでパスワードを「1234」に設定した場合）

①「WL21A」に電話をかけます。

②「WL21A」が電話を取り、パスワード入力を促す録音した音声が続返し聞こえます。

音声チャンネル C「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」

③パスワード 4 桁「1234」をダイヤルし「#」を押します。

パスワードが合っていれば入力信号の状態が音声で繰り返し聞こえます。

例 1：入力 1 が「警報発生」の状態

音声チャンネル 0「こちらは××です。」+ 音声チャンネル 1「入力 1 が ON です。」

この 2 つの音声が続返し聞こえます。

例 2：停電状態（設定ソフトで停電通報にチェックを入れている場合）

音声チャンネル 0「こちらは××です。」+ 音声チャンネル A「停電が発生しました。」

この 2 つの音声が続返し聞こえます。

例 3：入力が全て「警報解除」の状態

音声チャンネル 0「こちらは××です。」+ 音声チャンネル 9「全ての警報は解除しました。」

この 2 つの音声が続返し聞こえます。

④「#」を押すと③のパスワード入力に戻ります。

⑤「WL21A」からは電話を切りませんので、内容を聞いたら電話を切ってください。音声再生される入力信号の状態はパスワードを受け付けた瞬間の状態です。④の状態でもメッセージを聞き続け、その間に入力信号が変わってもメッセージは変わりません。適当なときに「#」を押してパスワード入力からやり直してください。パスワードを受け付けた瞬間の状態が新たに取得され、最新の状態が確認できます。

パスワードを間違えた場合

（※設定ソフトでパスワードを「1234」に設定した場合）

①「WL21A」に電話をかけます。

②「WL21A」が電話を取り、パスワード入力を促す録音した音声が続返し聞こえます。

音声チャンネル C「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」

③違ったパスワード 4 桁「9999」をダイヤルし「#」を押すと、パスワードが違ったので入力を促す音声が続返し聞こえます。

音声チャンネル D「一致しません。もう一度。」+ 音声チャンネル C「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」

この 2 つの音声が続返し聞こえます。

④再度、違ったパスワード 4 桁「7777」をダイヤルし「#」を押すと、パスワードが違ったので入力を促す音声が続返し聞こえます。（③と同じ）

※パスワードを 3 回間違えると「WL21A」は電話を切ります。

出力信号を ON、OFF するとき

WL21A を接続している一般電話回線に電話をかけて、4 点ある出力信号をそれぞれ ON、OFF する操作ができます。
 ※「入力信号の状態を確認するとき」と違う点は、パスワードを入力した後で「*#」を入力することです。

出力信号 1 を ON

(※パスワードを「1234」、出力信号 1 の ON コマンドを「0001」に設定していた場合。)

- ①「WL21A」に電話をかけます。
- ②「WL21A」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
 音声チャンネルC「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」
- ③パスワード4桁「1234」をダイヤルし「*#」を押すと、コマンド入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
 音声チャンネルE「コマンドを入力し最後に#を押してください。」
- ④コマンド4桁「0001」をダイヤルし「#」を押すと、出力信号1ランプが点灯し出力がONになります。そして、コマンドを受け付けた音声が繰り返して聞こえます。
 音声チャンネルF「受け付けました。」
- ⑤「#」を押すと③のパスワード入力に戻ります。

出力信号 1 を OFF

(※パスワードを「1234」、出力信号 1 の OFF コマンドを「0005」に設定していた場合)

- ①「WL21A」に電話をかけます。
- ②「WL21A」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
 音声チャンネルC「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」
- ③パスワード4桁「1234」をダイヤルし「*#」を押すと、コマンド入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
 音声チャンネルE「コマンドを入力し最後に#を押してください。」
- ④コマンド4桁「0005」をダイヤルし「#」を押すと、出力信号1ランプが消灯し出力がOFFになります。そして、コマンドを受け付けた音声が繰り返して聞こえます。
 音声チャンネルF「受け付けました。」
- ⑤「#」を押すと③のパスワード入力に戻ります。

パスワードを間違えた場合

(※設定ソフトでパスワードを「1234」に設定した場合)

- ①「WL21A」に電話をかけます。
- ②「WL21A」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
 音声チャンネルC「パスワードを入力し、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」
- ③違ったパスワード4桁「9999」をダイヤルし「*#」を押すと、パスワードが違ったので再入力を促す音声が繰り返して聞こえます。
 音声チャンネルD「一致しません。もう一度。」+ 音声チャンネルC「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」
 この2つの音声が繰り返して聞こえます。
- ④再度、違ったパスワード4桁「7777」をダイヤルし「*#」を押すと、パスワードが違ったので再入力を促す音声が繰り返して聞こえます。(③と同じ)
 ※パスワードを3回間違えると「WL21A」は電話を切ります。

コマンドを間違えた場合

(※パスワードを「1234」、出力信号1のONコマンドを「0001」に設定していた場合。)

- ①「WL21A」に電話をかけます。
- ②「WL21A」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
音声チャンネルC「パスワードを入力し、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください。」
- ③パスワード4桁「1234」をダイヤルし「*#」を押すと、コマンド入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
音声チャンネルE「コマンドを入力し最後に#を押してください。」
- ④コマンド4桁「9999」をダイヤルし「#」を押すと、コマンドが違っていたので再入力を促す音声が続り返し聞こえます。
音声チャンネルD「一致しません。もう一度。」+ 音声チャンネルE「コマンドを入力し最後に#を押してください。」
この2つの音声が続り返し聞こえます。
コマンドが合うまで③のコマンド入力に戻ります。
※パスワードの時と違いコマンドを何回間違えても「WL21A」は電話を切りません。

注意事項

- 「WL21A」へ一般電話、携帯電話からテレコンが可能です。
※トーン信号が出ない携帯電話機からのテレコンは出来ません。
- 「WL21A」が通報中の間はテレコンの使用はできません。通報先が6ヶ所全てに行うよう設定されていれば、全ての通報が終了するまで待ってください。
- 「WL21A」に電話をかけ、「WL21A」が電話を取っても音声が続かない場合があります。そのときは「WL21A」が通報をしようとしていた可能性があります。一度電話を切ってしばらくしてからかけ直してください。
- テレコン中に入力信号が「警報発生」して「警報解除」したもの、または「警報解除」して「警報発生」したものは、テレコン終了後に通報は行いません。
- テレコン操作の為に「WL21A」へ電話をかけた時、「WL21A」から電話を切る場合があります。
※電話をかけてから120秒以内にパスワードの入力しない場合。
※パスワードを1桁のみ入力してから120秒以内に何も入力しない場合。(コマンドも含む)

設置方法

設置場所を決める

WL21A を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。壁や天井などに取り付ける場合は、付属の取付金具を使用して下さい。この時、WL21A 本体には、付属のビスで取付金具を止めて下さい。付属以外のビスで止められますと、切りかすが本体内部に入り、故障の原因となる場合がありますのでご注意下さい。また、本体と接続されるケーブル等が余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

制御盤などに設置する場合

制御盤などに設置する場合、WL21A のケースは GND になっています。制御盤に取り付けられる部分が GND になっていない場合、WL21A が抑圧されて正常に動作しません。制御盤と WL21A を絶縁して使用されるようお願いいたします。

接続工事

本体側の電話回線

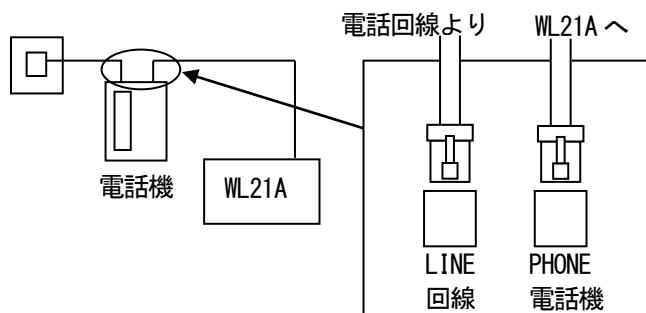
NTT 仕様の 2 線式のプッシュ回線及びダイヤル回線。ISDN 回線をご利用の場合は、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。

※モジュラーコードを 10m 以上でご使用するのはお止め下さい。モジュラーコードの場合、抵抗値が低くなる為に正常動作しない恐れがあります。10m 以上の場合は、必ず配線用コード 0.4mm をご使用下さい。

他の電話機や FAX などの回線と併用するとき

本製品を既設の電話機やモデムの回線と併用するときは、終端に接続されるか、モジュラージャックを分配する自動転換器をご使用下さい。

電話回線の終端に接続する場合



電話機、モデム等のモジュラーケーブル差込口
(差込口に明記されているLINEや、PHONE等の文字は、必ずしも上記と同じものとは限りません。ご使用の機器の接続方式に従ってモジュラーケーブルを接続して下さい。)

モジュラージャックを分配する場合

自動転換器（先取り機能付き*）を使用することにより、電話回線を他の機器と分配して使用することが出来ます。

*先取り機能とは、電話回線を先に使用している機器以外の機器の、電話回線使用を出来なくする機能です。

※単純な分配器を使用しますと、通報中に電話機の手受器を上げた時に通報内容やプッシュトーンが聞こえ、混信によって通報が正しく行われなくなる可能性があります。

※電話機と使用する場合は、テレコンにチェックを付けしないで下さい。

※自動転換器を使用して、1本の電話回線で2台のWL21Aをご使用する事も出来ます。この場合テレコンは1台のみ使用可能です。もう1台のWL21Aには、テレコンにチェックを付けしないで下さい。

※自動転換器はナカ電子のNT-320を推奨します。（オプション品で販売）



入力端子接続

接続

各信号はCOM（共通端子）と1～8の間に接続します。COM（共通端子）は端子の端から2番目になっていますので、お間違えのないように接続して下さい。信号は無電圧a接点（無電圧b接点）又は、オープンコレクタを接続します。

※接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用（AC）100Vや直流電圧がかからないようにしてください。

※設定ソフトで各入力のa接点、b接点を変更することもできます。

※1つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などすることもできます。

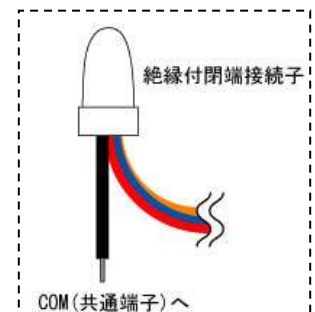
※入力は、700 ミリ秒以上の間継続して警報発生（解除）した時に、入力変化があったとみなします。

端子台

信号入力は、ねじ端子となっていますので、圧着端子をご使用下さい。また、圧着端子には必ず絶縁被覆を装着してください。

* 端子ねじの推奨締付トルクは、0.6～1.0 N・m

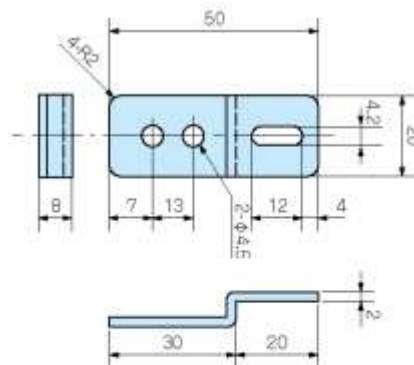
* 複数の信号線をCOM（共通端子）に接続する際は、絶縁付閉端接続子でまとめて下さい。（右図参照）



取付金具

付属のビスでWL21A 本体に取付金具を取り付けて下さい。

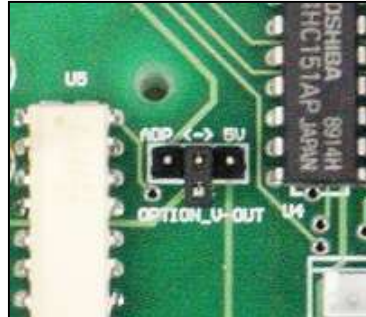
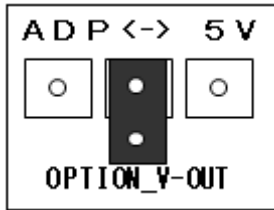
※付属のビス以外で止めますと、切りかすが本体内部に入り、WL21A が故障する恐れがあります。



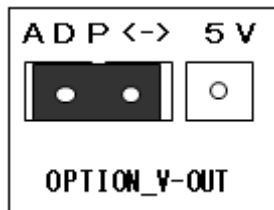
センサー用電源出力

「+V」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力ですが、出荷時には電圧がでておりません。ケースの蓋を開けると、「SB5」に短絡ソケットがあります。この短絡ソケットで「出力無し」「DC5V」「アダプタの出力をそのまま」の切り替えができます。使用できる最大電流は30mAです。

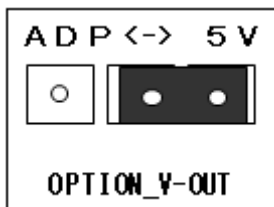
- ・短絡ソケットが中央に差し込める（出荷時） → 出力無しの状態



- ・ADP と中央に短絡ソケットを差す → アダプタの出力をそのままの状態
※「ADP」で使用している場合、停電すると電源供給はなくなります。



- ・5V と中央に短絡ソケットを差す → 5V 出力
※「5V」で使用している場合、停電すると停電保証用充電電池より電源を供給するので停電保証時間が短くなります。



AC アダプタの接続

AC アダプタから伸びているコードのプラグを「DC IN」にさし込み、AC アダプタ本体をコンセントに差し込みます。

※「電源ランプ」は電源スイッチ ON の時に、AC アダプタからの電源供給が無いときでも、内蔵電池から電気が供給されて点灯します。

※制御盤内部の AC コンセントを利用する場合、AC コンセントに電気が来ていないことがあります。制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。

※AC アダプタからの電源供給が無い場合、電源スイッチ ON にすると LP1 (黄)、LP2 (赤) が点灯して消灯した後、「録音再生」が 10 回高速点滅します。（「設定」スイッチ OFF の状態）

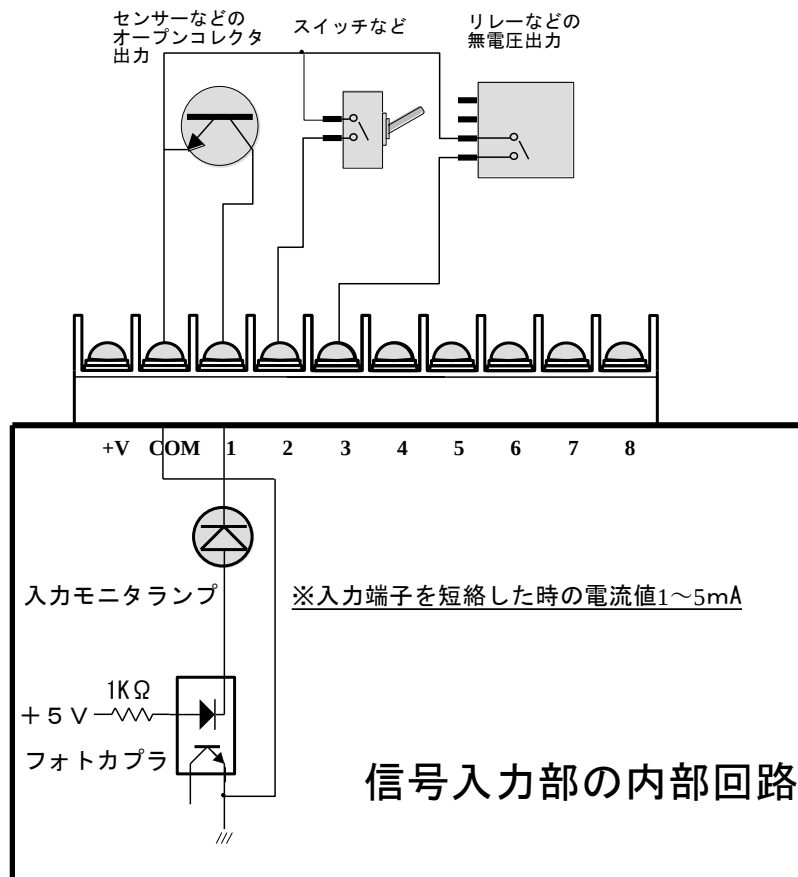
運転の開始

「設定スイッチ」について

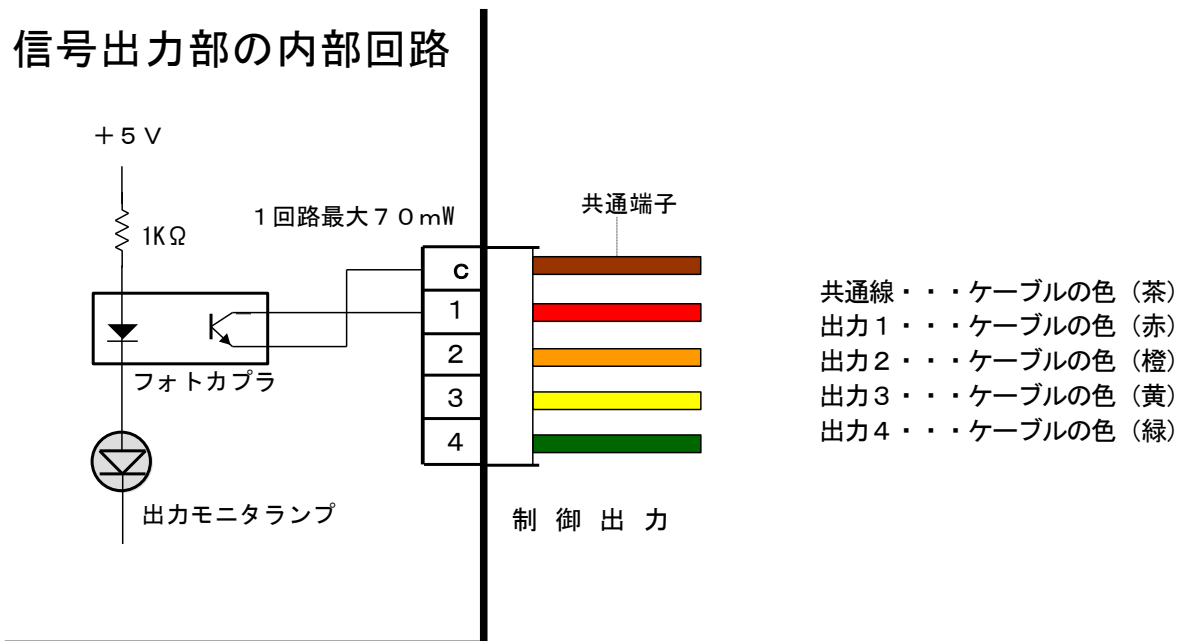
実際に現場に取り付けて使用するときは、「設定スイッチ」が OFF である事を確認してから、「電源スイッチ」を ON にして下さい。「設定スイッチ」が ON の状態だった場合は、一旦「電源スイッチ」と「設定スイッチ」を OFF にしてから、「電源スイッチ」を ON にして下さい。

※「設定スイッチ」を ON の状態で「電源スイッチ」を ON にすると、通報動作を行いません。

信号入力内部回路



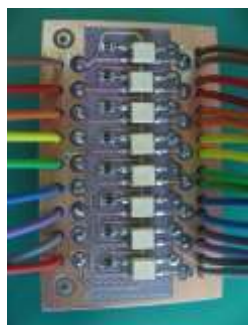
信号出力内部回路



※信号出力はオープンコレクタ出力です。

※電磁リレーを接続しますと故障します。電磁リレーを接続する場合は、リレーユニット（オプション品）をご使用下さい。（46ページ参照）

リレーユニット（オプション品）



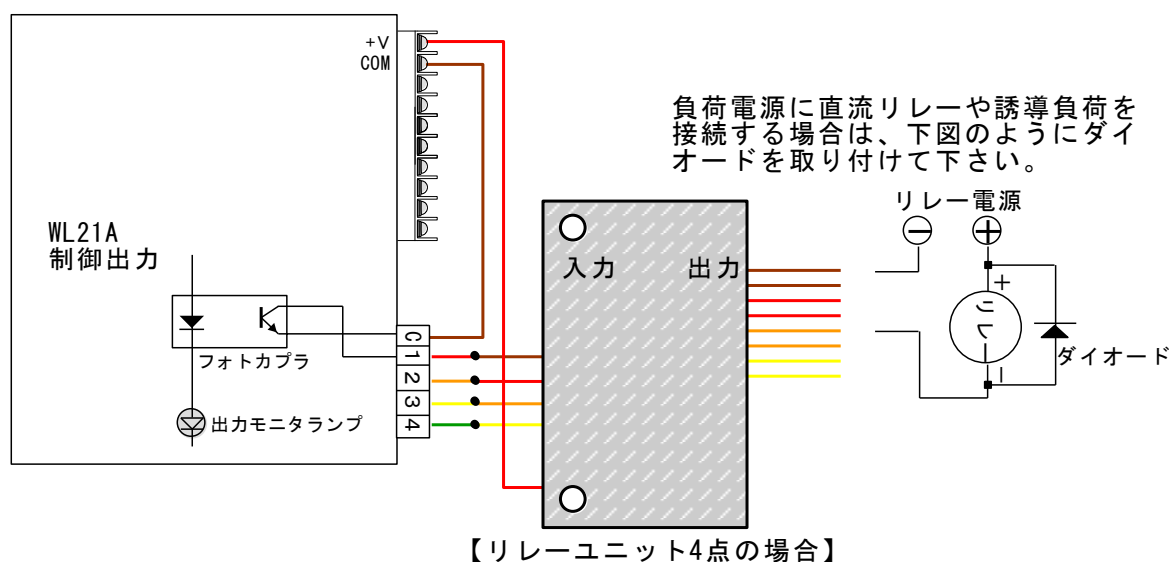
- ・左図はリレーユニット8点用完成品です。
 - ・リレーユニットは受注生産品です。ご注文時に必要な点数（1点から最大8点まで）をお申し付け下さい。
 - ・ケースはございませんので、適当なケースなどに入れてご使用下さい。
 - ・各リード線は約30cmです。
 - ・リレーユニット出力に接続出来る負荷・・・AC /DC100V 以下
負荷電流 50mA 以下
- ※出力に 100V を接続する場合は、感電にお気を付け下さい。

センサー用電源 5V 出力を使用した接続

センサー用電源出力を「5V」に設定します。（44ページ参照）

リレーユニットの入力と WL21A の出力端子を接続します。

リレーユニットの出力は、同色 2 本のうち片方を共通線にして下さい。方向性はありません。

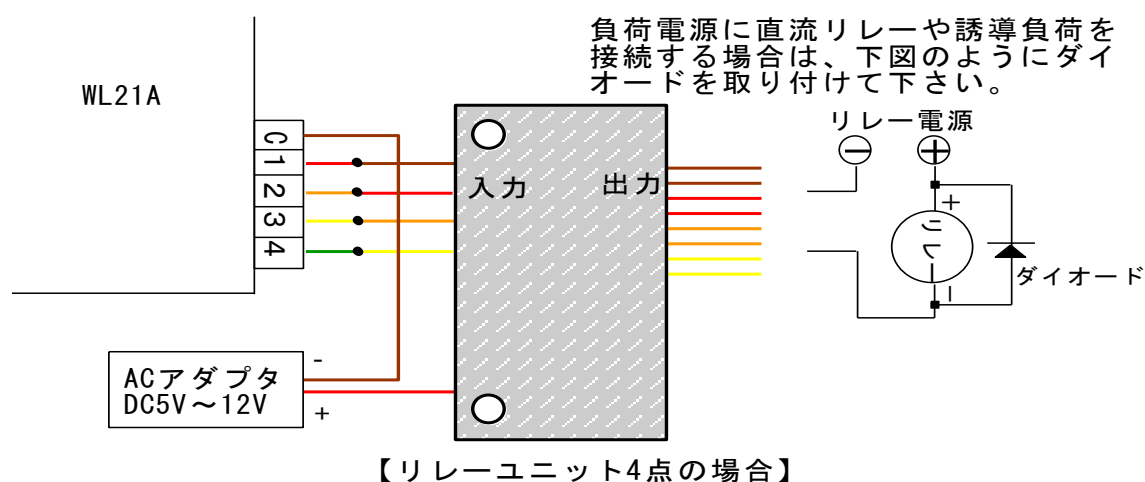


外部電源を使用した接続

WL21A のセンサー用電源「5V」を使用しない場合は、別途 AC アダプタ（DC5V～12V）をご用意下さい。

リレーユニットの入力と WL21A 出力端子を接続します。

リレーユニットの出力は、同色 2 本のうち片方を共通線にして下さい。方向性はありません。



通報の受信

受信装置

音声通報、タダ電通報を受信できるのは、一般電話機、携帯電話機、PHS です。

携帯メール(SMS) 通報を受信できるのは、ドコモ回線を契約されたSMS受信が可能な携帯端末に限ります。SMS受信拒否設定をしていると、受け取ることが出来ませんのでご注意ください。

WhiteLock集中監視の場合、電話回線よりトーンモデムを介してパソコンで通報を受けます。

メール送信システムを利用したEメール通報を受信出来るのは、Eメールを受け取れるパソコン、又は携帯電話機です。

音声通報を電話機で受信したとき

電話のベルが鳴ったら受話器をとります。最初に録音チャンネル0の音声が聞こえ、続いて該当する入力信号に対応する録音内容が聞こえます。受話器を上げている間繰り返します。

WL21Aは通報先が受話器をとってから120秒を過ぎると、通報装置が電話を切ります。この場合はしばらく待つと再び電話がかかってきます。120秒以内に受話器を下ろせば（受信した側で電話を切る）、通報装置は正しく相手に通報できたと認識して以後通報はしません。

携帯メール(SMS)を受信する場合

ドコモ回線を契約されたSMS 受信が可能な携帯端末のみ受信できます。

※SMS 受信拒否設定の場合、多額の電話代が請求される場合がありますのでご注意ください。また、拒否設定により発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

識別コードの後ろに「 ） 」が自動的に付加されます。これは、識別コードとその後ろに表示されるメッセージを見やすくするためです。（識別コードは省略できます）

メッセージ部の表示について

「全体的設定」で「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」を選択している場合、メッセージの後へ「ON」「OFF」等が自動付加されます。この場合、設定画面の「送信メッセージ編集」には「ON」「OFF」等は表示されませんので、ご注意ください。

メール送信システムを利用した場合

弊社サーバーが通報を受け取ると、登録された通報先（メールアドレス）へ通報のメッセージが一斉送信されます。通報先には、弊社サーバーからのEメールが届きます。

メッセージは、ユーザー登録時に登録した内容となります。登録内容の変更も可能です。

メッセージ部の表示について

「全体的設定」で「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」を選択している場合、メッセージの後へ「ON」「OFF」等が自動付加されます。この場合、設定画面の「送信メッセージ編集」には「ON」「OFF」等は表示されませんので、ご注意ください。

WhiteLock 集中監視の場合

集中監視システムが入ったパソコンへ、電話回線よりトーンモデムを介して文字で表示されます。

識別コードの後ろに「 ） 」が自動的に付加されますので、集中監視システムの受信メッセージを登録する際に注意して下さい。（識別コードは省略できます）

メッセージ部の表示について

「全体的設定」で「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」を選択している場合、メッセージの後へ「ON」「OFF」等が自動付加されます。この場合、設定画面の「送信メッセージ編集」には「ON」「OFF」等は表示されませんので、ご注意ください。

動作モニタ

表示モニタランプ

起動時

電源 ON で電源 (緑) ・ LP1 (黄) ・ LP2 (赤) が点灯します。
その後、LP1 (黄) ・ LP2 (赤) は接続した回線の種類によって消灯の順番が異なります。

回線の種類が「プッシュ回線」の場合

3 秒後に LP2 (赤) が先に消え、その後 LP1 (黄) が消えます。

回線の種類が「ダイヤル回線」の場合

3 秒後に LP1 (黄) が先に消え、その後 LP2 (赤) が消えます。

電池で動作している場合 (AC アダプタから電源が来ていない状態)

LP1 (黄) ・ LP2 (赤) が消灯後、録音再生ランプが 10 回高速点滅します。(本体バージョン 1.05 以降)

「電源 ON 時に 60 秒間入力信号を無視する (Ver1.05 以上)」にチェックが付いている場合

LP1 (黄) ・ LP2 (赤) が消灯後、60 秒間 LP1 (黄) が低速点滅します。

設定スイッチが ON の状態で起動したとき

電源 ON で電源 (緑) ・ LP1 (黄) ・ LP2 (赤) が点灯します。LP1 (黄) ・ LP2 (赤) は、すぐに消灯します。

設定ソフトで転送/読込を行った場合

転送中は LP1 (黄) ・ LP2 (赤) とともに点滅します。

設定ソフトで転送/読込を行わない場合

LP1 (黄) ・ LP2 (赤) が消灯後に、音声録音ができる状態になります。

録音中の場合

LP2 (赤) と録音再生 (赤) が点灯します。

再生中の場合

LP1 (黄) と録音再生 (赤) が点灯します。

通報の状態から見たとき

1. 電話を接続中。
「LP1(黄)」点灯。(受話器を上げたときから受話器を下ろすまでの間)
2. 話し中であったとき。
「LP1(黄)」高速点滅(3秒間)。このあと 3項に進む。
3. リダイヤル待機中。
「LP1(黄)」低速点滅(リダイヤルを開始するまで)。待機時間終了で 1 項へ進む。
4. 相手が電話に出なかったとき。
「LP1(黄)」が消灯し、「LP2(赤)」高速点滅(3秒間)。
5. 使われていない番号にかけたとき。またはモジュラープラグが電話回線に接続されていないとき。
「LP1(黄)」と「LP2(赤)」が交互に高速点滅(3秒間)。
この後「LP1(黄)」、「LP2(赤)」は消灯し、3 項へ進む。(相手先番号の確認が必要)
6. 発信先(相手)が受話器を取ってから通話後に受話器を下ろして通報が終わったとき。
「LP1(黄)」は消灯し、「LP2(赤)」が一定時間高速点滅します。
その後「LP2(赤)」は消灯します。
7. 設定モードのとき
「LP1(黄)」、「LP2(赤)」とも点灯

ランプの点灯状態から見たとき

LP1 (黄)	LP2 (赤)	通報の状態
消灯	消灯	電話が切れている/通報は全て完了している/入力信号待ちの状態
点灯	消灯	電話をかけているとき/電話がかかってきたとき/着信処理中
低速点滅	消灯	リダイヤル待機中
高速点滅	消灯	話し中のとき
消灯	高速点滅	通報先が一定時間電話に出ず通報装置が電話を切った後の3秒間
高速点滅	高速点滅	使われていない番号にかけたとき/電話回線が接続されていないとき
消灯	高速点滅	通報、またはテレコンが正常に終わった後の6秒間の間
点灯	点灯	設定モードのとき
電源ON時、交互に高速点滅		設定が一度も転送されていない

停電保証について

停電保証用充電電池が新品の場合で、完全充電されている状態では1時間以上動作し続けます。停電保証時間は入力信号が全て警報解除の状態です。入力信号が警報発生状態ですと、その分電力を消費しますので、保証時間は短くなります。また、通報発信する回数によっても増減します。

停電保証用充電電池

製品に内蔵の電池は、ニッケル水素充電電池です。

内蔵電池の充電はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは電源スイッチがOFFでも充電しています。

※充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。

※電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。

電池は2年以上使用可能です。手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに電源スイッチをONにしてお使いになるような場合や、停電が長引いて電池の電圧が完全になくなったときは、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

電池の交換をするときは、ケース裏のネジ4本をはずして、上蓋をはずして下さい。

電池は下ケースに貼り付けてありますので、基板のネジ4本もはずして下さい。

交換する電池は、必ず**ニッケル水素充電電池 006P 9V型 250mAh以上** をご使用下さい。

※アルカリ乾電池をつなげますと火災の原因となります。爆発するおそれもありますのでご使用は絶対にお止め下さい。

Q & A 困ったときにご覧下さい

一般的なご質問.....	52
通報・設定についてのご質問.....	55
携帯メール(SMS)についてのご質問	58
メール送信システムについてのご質問.....	59
テレコンについてのご質問.....	60
設定ソフトについてのご質問	61

一般的なご質問

Q. 接続出来る一般回線とは

- A. 使用出来るのは、NTT 仕様で 2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。NTT 準拠のアナログポートにつなげて下さい。

例えば ISDN 回線・ADSL 回線・光回線・IP 回線・PBX

* それぞれ専用の信号変換機器やモデム又はターミナルアダプタのアナログポートに接続します。

注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

使用出来ない回線は携帯電話機・PHS・ビジネスホン・ホームテレホン・4 線式電話機・専用線です。

Q. 装置は ISDN 回線を使用できますか

- A. ISDN 回線に直接接続することは出来ません。必ずターミナルアダプタのアナログポートに接続して下さい。

Q. 内線発信に対応していますか

- A. 対応しています。「PBX での使用について」11ページをご覧ください。

Q. 電話が繋がらない

- A. ビジネスホン、ホームテレホン、4 線式電話機は接続することは出来ません。

ビジネスホン、ホームテレホンに接続されますと高い電圧が掛かる為、WL21A は故障してしまいます。一度でも繋いでしまったのであれば、故障している可能性があります。

アナログ PBX 交換機を介した接続についての注意は、11ページをご覧ください。また、普通の電話機（一般家庭で使われている電話機です）を接続して使用できるか調べてください。交換機によっては、電話をかける場合特殊な番号、たとえば「#9」などを最初にダイヤルしないとかからないものもあります。

Q. PBX（内線交換機）で電話がかかりません

- A. PBX（内線交換機）で使用する場合、回線の種類の自動判定（パルスかトーンの判定）がうまく出来ない場合があります。その場合は以下の操作を行ってみてください。（回線の種類を強制的に設定）

● トーン回線の場合 … 本体の再生ボタンを押しながら電源スイッチを ON にしてください。

● パルス回線の場合 … 本体の停止ボタンを押しながら電源スイッチを ON にしてください。

回線の種類の自動判定は行わず、電源スイッチを ON にされたとき押されたボタンによって強制的のトーンかパルスの回線に設定します。この操作は本体の電源スイッチを ON にする度に行ってください。

Q. 社内の内線が 0 発信ではなく「*0」で外線に発信するようになっていますが対応できますか

- A. 「*0」による外線発信は可能です。設定ソフトの「外線発信番号」ボタンを押して入力すると「0,」と電話番号の先頭に入力されます。その後で「*0,」に修正してください。「,」は 0.5 秒待つという意味ですので待ち時間がもっと必要なら「,」を追加してください。

Q. 本体に付いている携帯コネクタを使いたい

- A. ご利用になれません。付いているだけです。

Q. 1本の電話回線で複数のWL21Aを使用したい

- A. 電話自動転換器を使用すれば可能です。最初に受話器を上げた回線が有効になり、他の回線に割り込ませないことが可能です。2台のWL21Aを使用した時は、自動転換器『ナカ電子のNT-320』を推奨します。テレコンを行う場合は、どちらか1台のWL21Aだけテレコン可能にし、もう1台のWL21Aは自動着信しないようにして下さい。（設定でテレコンにチェックを入れないで下さい）

Q. 通報を受けたとき音声はすぐに再生されません

- A. 本体バージョン1.06からの変更です。通報先が電話に出たのか判定するのに呼出音が3秒以上聞こえないことを確認している為です。呼出音が鳴るタイミングにもよりますが、受話器を上げてから1秒～3秒後に音声メッセージが流れ始めます。

Q. 「WL21A」と「WL21D」を区別する方法はありますか

- A. 設定スイッチは OFF の状態で、電源スイッチを入れた時に「録音再生ランプ」が一瞬点灯する場合は「WL21D」です。点灯しない場合は「WL21A」です。

Q. 電話に出ても何回も通報してきます

- A. 録音をやり直すか、他の人に録音してもらってください。録音するとき音声の後に無音状態を2秒入れておくことで解決する場合があります。WL21Aは、呼出音が鳴らなくなったのを確認して相手が電話に出たと判断します。また話中音が聞こえるのを確認したら、相手が電話を切ったと判断します。すべて音で判定しているため、録音された音声に呼出音や話中音と同じ400Hz前後の音が混じっていると、正確に判定できない場合があります。

Q. 取り付けは素人でも出来ますか

- A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q. 屋外に設置したい

- A. 製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

Q. 装置を取り付けるところに電源がありません

- A. 充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。その際には、別売りのDC/AC インバータが必要となります。

Q. どの位の大きさですか

- A. ケーブルや突起部分を除いて、縦 132 x 横 150 x 厚み 48（mm）です。

Q. 業務用に使った場合に問題はありませんか

- A. まったく問題ありません。

Q. 保証はありますか

- A. はい、ご購入後1年間です。

Q. 装置の寿命はどれくらいですか

- A. 故障するケースで最も多いと考えられるのは電話回線や電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。
防止策としては業務用の回線用避雷器や電源避雷器を組み込むことで改善されます。WL21Aは内部の部品に機械的な接点を使用していないので、長寿命です。

Q. 内蔵の停電保証用充電電池はどれくらいの期間使用できますか

- A. 2年以上使用できます。もし、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

Q. マイクやスピーカーは付属していますか

- A. はい、イヤホンマイクが付属しています。

Q. 通信ケーブルをなくしてしまったのですが。

- A. RS232C ストレートケーブルです。コネクタはD-sub9pin オス-D-sub9pin メスです。パソコン等を取り扱っているお店で購入できます。

Q. イヤホンマイクをなくしました

- A. 携帯電話用イヤホンマイク（丸型2.5mm3極）です。

Q. 一般回線用と携帯電話機用の兼用タイプの製品がありますか

- A. ありません。コストダウンの為に別々としました。

Q. 1つのセンサーを2台のWL21Aに接続できますか

- A. 2つの無電圧接点信号を並列にWL21Aへ接続する事は可能です。1つの回線で2台のWL21Aを使用する場合は、自動転換器『ナカ電子のNT-320』をご使用下さい。

Q. 1つの入力接点に2つのセンサーを接続できますか

- A. 出来ます。

Q. DC アダプタ「DC-ADV01」を使うと停電保証用充電電池に充電が出来ません

A. はい、出来ません。24V を 9V に変換するアダプタを使用すれば可能です。

Q. 付属された AC アダプタとは別の AC アダプタを使用したい

A. 付属品以外の AC アダプタを使用されますと、保証対象外となりますのでおやめください。

Q. 200V 用の製品はありますか

A. ごさいません。単相複巻きトランス (30VA~50VA) で 200V を 100V に変換してご使用下さい。
※一次側と二次側を間違えて接続しないで下さい。必ず、接続は電気工事屋へご依頼下さい。

Q. 入力ランプが点灯しません

A. COM と入力 1（又は 2~8）を短絡させて下さい。+V と入力 1 を短絡させても点灯しません。端子台とケースの印刷を確認してください。

Q. 2 秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか

A. できます。700 ミリ秒以上の間継続して警報発生（解除）の時に、入力変化があったとみなし通報します。

Q. 無電圧接点を 10m くらいの線で入力させても問題ありませんか

A. 問題ありません。50m までであれば、0.75 mm² 以上の線で雷対策（埋設）を行えばご使用頂けます。誘導雷の混入を防ぐ為に必ず埋設して下さい。

Q. センサー用電源出力が出ません

A. 「+V」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力ですが、出荷時には電圧が出ておりません。ケースの蓋を開けると、「SB5」のショートバーがあります。このショートバーの短絡ソケットを差し込む事で「出力無し」、「DC5V」、「アダプタの出力をそのまま」の切り替えができます。「センサー用電源出力」44ページを参照してください。

Q. 出力接点を ON にしてテスターで計れません

A. リレー接点ではありませんので 0Ω、∞Ω の切替ではありません。オープンコレクタですのでテスターで計る場合は向きがあります。OFF の時は ∞Ω で ON の時は 300~500Ω くらいです。

Q. 制御出力の現在の状態（ON / OFF）を確認することは出来ますか

A. 現在、制御出力の状態を確認するための機能はありません。接点入力に制御出力を繋いで確認することは可能です。信号入力 8 と信号出力 1 をつなぎます。入力側の COM と出力側の COM をつなぎます。この場合入力 8 の音声チャンネルには「制御出力 1 が ON になりました」と録音しておく必要があります。
また、携帯メール通報に限っては「各入力信号が解除する度に解除呼び出しを行う」設定にした場合に、制御出力が ON/OFF する度にメール通報が届きます。

Q. チップをバージョンアップしたら動作が変わってしまいました

A. 設定ソフトで設定をやり直してください。設定データはバージョンアップ時に交換するチップに保存されています。チップを交換すれば以前の設定データは変わってしまいます。また、音声の録音時間も変わってしまいますので再度、録音してください。

Q. 本体にネジ溝がありませんが付属の取付金具をネジで締めるとケースの切りかすが出て動作に影響しませんか

A. 付属のビスを使用すれば、大丈夫です。付属以外のビスを使用した場合、切りかすが故障の原因となる恐れがあります。

Q. 設置後 WL21A が動作しているのを確かめたい

A. WL21A に電話をかけると動作していることを音声で確認できます。この場合、設定で着信を許可しておく必要があります。テレコン (39ページ)、テレコンの設定 (23ページ) を参照してください。

Q. キャビネットに取り付けると正常に動作しません

A. WL21A のケースは GND になっています。取り付けられるキャビネットも GND になっていると思われませんが、その GND が浮いている状態だと思われます。WL21A の GND とキャビネットの GND の電位が違う状態で接触すると WL21A が抑圧されて正常に動作しません。キャビネットと WL21A を絶縁して使用されるをお願いします。

通報・設定についてのご質問

Q. 設定をしたのですが通報がきません

- A. 設定内容で『通報先の電話番号』を入力する際にハイフンは入れないで下さい。ハイフンを入れると、最初のハイフンまでの番号しか登録しませんので通報がきません。登録した設定内容を読み込み、確認して下さい。

Q. 音声通報で通報先の電話に出たのに無音のままです

- A. 通報装置が呼出音（プルル音）を検出できないため、音声の再生が始まらない状態です。
- ・コール音（又は着信音）が3回以上鳴ってから電話をとってください。
- 【 通報先が携帯電話の場合のみ 】
- ・通報先の携帯電話がiモード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音（プルル音）が聞こえない状態があります。この場合、通報先では5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ないと、正常通報になりません。
 - ・通報先の携帯電話が『メロディコール』（ドコモ）又は『待ちうた』（au）サービスに契約されていると、電話をかけた側には呼出音がプルル音に音楽が混じって（又は音楽のみ）聞こえます。この場合、通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号（通報装置から発信する番号）の設定をプルル音に変更して下さい。

Q. 呼出音が鳴りすぐ受話器を取るとまた電話がかかってきます

- A. 呼出音を3回以上鳴らしてから受話器を取ってください。受話器を取るのが早すぎると回線異常とみなし、もう一度電話をかけてきます。

Q. タダ電通報の呼出音が鳴る回数を指定したい

- A. できません。呼出音が鳴ったと判定されたら電話を切ります。通報先の電話機の着信履歴に残すことを目的にしています。

Q. 携帯電話にタダ電通報をしていると何回も通報してきます

- A. タダ電通報は呼出音が聞こえたら正常通報となりますので、呼出音が聞こえない状態では何回も電話をかけてしまいます。例えばドライブモードにしていると、呼出音が鳴らずにアナウンスだけが流れます。また、留守番電話サービスの呼出音の鳴る回数を0回にしている場合、呼出音が鳴らないので何回も電話してしまいます。

Q. 留守番電話で通報を受けると何度も通報してきます

- A. 留守番電話の録音時間が120秒以上になっていませんか。本装置は通報時に通話時間が120秒以上になると異常と判断しもう一度通報します。留守番電話の録音時間を短くすれば正常に通報が終わります。携帯電話の留守番電話サービスでは録音時間が変更できませんので、何度もかかってくる場合は留守番電話の機能は使用しないで下さい。

Q. なぜ呼び出し回数が無制限なのでしょう

- A. 確実に通報する為です。途中で止めては通報装置ではない、という考えだからです。

Q. WhiteLock 集中監視に通報させるには

- A. 通報先の設定で「通報先の電話番号」に WhiteLock 集中監視専用モデムが繋がっている回線の電話番号を入力します。「携帯メールセンター」で「WhiteLock 集中監視」を選択します。送信メッセージの「識別コード」を「フリーメッセージ」で使用可能な文字（半角文字）で設定してください。句点コード（全角文字）でメッセージが始まると専用モデムが受信しません。

Q. 接点毎に異なる通報先を指定できますか

- A. できません。

Q. 通報先の電話に誰も出ない場合はどうなりますか

- A. 電話をかけ、30秒間呼出音を鳴らして、電話を切ります。10秒待機して、また電話をかけます。以後その繰り返しです。

Q. 現在使われていない電話番号に通報するとどうなりますか

- A. 通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかったりする場合があります。ご利用の前には設定後に動作試験を必ず実施してからご使用下さい。

Q. 発信者番号を通知するには

- A. 音声通報、タダ電通報の場合は、通報先の電話番号の先頭に「186」を入力してください。携帯メール(SMS)通報の場合は「186」を入力しないで下さい。

Q. 1回の通信に要する時間はどれくらいですか

- A. 携帯メール(SMS)で通報するときは、文字数により通話時間が変わります。全角1文字送信するのに2秒、半角1文字送信するのに1秒かかります。10文字の全角文字メッセージを送信する場合は、メールセンターへ電話をかけたり、切ったりする時間を含めて40秒程度です。音声通報の場合は受けた側が電話を切るまでです。

Q. 接点入力と音声通報のメッセージが違います

- A. チャンネルとメッセージの録音が正しいか再生して確認して下さい。「録音再生」31ページを参照して下さい。

Q. 通報を受けたとき入力信号のどれが警報発生の状態になっても同じメッセージが聞こえます

- A. メッセージ録音時に、録音チャンネル0だけで録音していませんか。「録音再生」31ページをご覧になり設定方法を確認して下さい。

Q. 通報時にノイズが入ります

- A. 入力接点に接続してあるものを外してください。制御盤に取り付けられている場合は外してください。それで外して見てノイズが出なければ、端子、ケースがアースになっていますのでそこからノイズが入っている可能性があります。また、モジュラーケーブルもノイズの影響を受けますのでシールドしてみてください。また、接点から直接ノイズが入っている場合にはリレーを入れるなどしてノイズが入らないようにしてください。

Q. 誤動作などで電話代が多く請求されるようなことはありませんか

- A. 1. 電話の仕組みとして相手が電話に出なければ当然電話代はかかりません
 2. 電話を受けた側が電話を切ればその時点から電話代はかかりません
 3. ショートメッセージセンターに電話をかけたときには一定時間が経過するとサービス会社の側から電話を切りますのでそれ以上電話代はかかりません。但し、通報先の設定がSMSメールを受信出来ない番号(ショートメッセージサービス拒否設定になっている、解約等で番号が存在しなくなった、その他)の場合、多額の電話代が請求される事がございます。必ず設定時に通報先で受信を確認して下さい。また通報先に登録してある携帯電話の解約時は、通報装置の設定変更を行ってください。SMSメール受信が出来ない電話機に対するSMSメール通報によって多額の電話代が請求された場合、弊社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
 上記2の場合に受話器を正しく戻さなかったときでも一定時間(120秒)経過すると電話を切るようになっています。いずれの場合であっても誤動作によって電話代が多くなることはありません。安心してご利用ください。

Q. 停電保証時間を超えてから復電した場合に復電通報を行いますか

- A. 行いません。停電保証時間を超えてから復電した場合、電源をONし直した時と同じ状態です。

Q. 復電通報が12時間も遅れてきました

- A. 通報先が複数あり、「全ての通報箇所に通報できたら終了」にしてあり、停電発生の通報が終了していなかったのではないのでしょうか。「全ての通報箇所に通報できたら終了」にしてある場合、1ヶ所でも通報が終わらなければ永遠に通報しようと電話をかけ続けます。停電発生の通報が終了できないため、復電しても復電通報が来ないということになります。「全ての通報箇所に通報できたら終了」の設定をする場合は、通報先には電話を受けられる番号だけを登録してください。夜は電源を切ってしまう携帯電話などを通報先に設定していると、このようなことがおこります。

Q. 停電通報だけ電話がかかりません

- A. 停電保証用充電地の充電が不十分な為、ACアダプタを抜くとランプは点灯しても電話をかけることができません。出荷時には付属の停電保証用充電地には充電が十分されていないので、本体を72時間通電させてください。停電保証用充電地の充電を十分に行ってから、停電通報させてみてください。

Q. 音声録音再生はどのようにして行いますか

- A. 録音、停止、再生の各ボタンと録音再生中を示すランプがあって、普通のテープレコーダーのように使います。録音する場合は「録音」と「停止」ボタンを、再生する場合は「再生」ボタンを押して、付属のイヤホンマイクで録音します。

Q. 音声録音された内容をイヤホンで再生したとき、前より音質が悪くなりました

- A. AC アダプタを使わず、内蔵電池のみで使った場合に電池の残り電圧が不足していると音質が悪くなります。

携帯メール(SMS)についてのご質問

Q. 携帯メール(SMS) 通報とは

- A. ドコモの『SMS（ショートメッセージ）』サービスを使用した文字メッセージ通報です。
『SMS（ショートメッセージ）』とは、携帯電話、PHS、一般回線電話などのプッシュトーンを送れる電話機から、ドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末へ文字メッセージを送るサービスです。

※電子メール（Eメール）ではありませんので、パソコンやドコモ以外の携帯電話機では受け取れません。

※WL21A からドコモのショートメッセージセンターへメッセージを送ります。

- ・最大文字数 全角半角にかかわらず 50 文字
- ・センター保存 72 時間
- ・発信者番号 通知可
- ・WL21A で使用可能な文字コード フリーメッセージ(*2*2)、句点コード(#)

Q. 携帯メール(SMS) 通報を設定しても通報がこない

- A. ・設定ソフトの「携帯メールセンター」が「ショートメール（NTT ドコモ）」を選択されているかご確認下さい。
・「通報先の電話番号」の先頭に「186」が入力しない下さい。
・「通報先の電話番号」が下記のような SMS メールを受信出来ない電話番号を設定していないかご確認下さい。

1. 固定電話番号
2. 使用されていない携帯電話番号
3. ドコモ回線以外で契約された携帯電話番号
4. SMS 受信を拒否設定している携帯電話番号

*上記の電話番号を入力していると、多額の電話代が請求される場合がございます。

SMS メール受信が出来ない電話機に対する文字メッセージ通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

Q. 半角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨツ」を送信したい

- A. できません。全角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨツ」なら送信できます。

Q. メッセージが文字化けするのですが

- A. 受信装置がメッセージを受信したとき、なんらかの電波ノイズが混入したときに起きる可能性があります。送信メッセージが長すぎると文字化けしやすくなります。メッセージを短くしてみてください。

Q. 通報先を SMS メールにしていると遅れて通報されることがあるのですが

- A. 携帯電話の SMS メール自動受信は送信所から一度しか送信されません。また、定期的に再送されることもありません。何かのキッカケ（アクション）があるとそのときに未通知のメールが届きます。原因は電波の具合が悪くたまたま届かなかったものと考えられます。たまたまメール通知の電波が来たとき、電波のある程度強い場所でも、運悪くすぐ近くでたくさんの携帯電話が使われている場合など電波が分散されてしまい、遠くの送信アンテナを探しに行ったりします。滅多にはないことだと思いますが、電波を使う上で完全なものとはならないこともあります。

メール送信システムについてのご質問

Q. メール送信システムの使用料金はかかりますか

- A. 登録は無料ですが、システム料は有料です。通報時の通話料金（弊社サーバーまでの料金）はお客様負担となります。日本国内（離島を除く）から通報する場合は、1つの通報について10円程度かかります。通話時間は、28秒以下です。

Q. 通報を開始してからメールが届くまでどのくらいかかりますか

- A. 通報装置が通報を終わってからメールが届くまでに要する時間は、概ね6～8秒です。但し、経由するサーバーの負荷によってこれ以上時間がかかることがあります。

Q. 登録はどのようにするのですか

- A. ホームページの「メール送信システム」ページにある「利用契約」をお読みにになり、登録シートのダウンロード画面で該当する機種の登録シートをダウンロードして下さい。登録方法は登録シートに記載されています。

Q. 登録後にメッセージ内容などを変更できますか

- A. ご登録後の変更は可能です。ご登録が完了しますと、ご担当者様へ登録完了メールが届きます。この時に、添付される登録シートを使って変更頂けます。ご登録時と同じように、メールに添付してお送り下さい。識別コードは、通報装置に対して登録しますので、電話回線を変更される場合は「接続する電話番号」を変更して下さい。

Q. 通報先へメールが届きません

- A. 1. ユーザー登録はお済みでしょうか？
 ホームページの「メール送信システム」ページにある「利用契約」をお読みにになり、登録シートのダウンロード画面で該当する機種の登録シートをダウンロードして下さい。登録方法は登録シートに記載されています。
2. 通報装置の設定はお済みでしょうか？
 登録が完了しますと、弊社より『識別コード』を指定しますので、通報装置に設定して下さい。
3. 「送信メッセージ編集」内容を「IN1」または「IN1 ON」以外にしていますか。
4. ユーザー登録の「接続する電話番号」と違う電話回線に通報装置を接続していませんか。
 通報装置を接続している電話回線の番号を登録して下さい。
5. メールを受信される側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。弊社のメール通報システムは、専用サーバーからLANを通して光ケーブルで高速配信している為、送信元はパソコンと同じ扱いになります。
 『 whitelock@adocon.co.jp 』からの受信許可設定を行って下さい。

Q. 御社より送信エラーのお知らせがきました

- A. 通報先側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。また、登録されたメールアドレスが変更されていないか確認下さい。送信エラーが続く、ご担当者様より連絡を頂けない場合は、「利用契約」に基づきこちらで登録を削除させて頂く場合がありますのでご了承下さい。

テレコンについてのご質問

Q. テレコン（テレコントロール）とは

A. 外出先から電話を使って、機器の状態を確認したり制御したりすることです。

Q. 制御出力4点の状態をテレコンで確認出来ますか

A. 出来ません。入力信号8点の状態のみ確認できます。

Q. FAX など他の電話と並列に繋いでいるときでもテレコンが可能でしょうか

A. テレコンにチェックを入れていますと、WL21A が先に自動着信してしまいます。テレコンを使用する場合は他の機器と並列に繋がらない様にして下さい。

Q. テレコンの状態確認で入力1が警報発生の状態でも『全解除』のメッセージが流れます

A. 入力1の通報が終了してからテレコンで入力信号の状態確認をして下さい。

Q. テレコンで音声途切れ無音になります

A. テレコン時はDTMF音を受信すると音声を止めるようになっています。再生音声とDTMF音が重なるとDTMF音を正しく受信できないためです。録音された音声にDTMF音と近い音が混じっていると、DTMF音と認識してしまい音声が止まってしまいます。録音をやり直して再度、確認してみてください。

※本体バージョン1.70以降はDTMF音で音声を止めないようにし、無音の時だけDTMF音を受けるけるようにしました。

Q. テレコンの出力端子の共通線はどれですか

A. 茶色の線です。（45ページの「信号出力内部回路」参照）

設定ソフトについてのご質問

Q. USB 変換ケーブルで転送（又は読み込み）出来ない

A. ・USB 変換ケーブルのドライバがパソコンに入っているか確認して下さい。

・通信ポートを確認して下さい。

設定画面内にある「通信ポート設定」を開き「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外します。そして「通信ポート指定」にある空 COM にチェックを入れて下さい。（使用可能な COM のみ チェックが入る様になっています）

Q. 設定データが転送（又は読み込み）出来ない

A. ・通信ポートを確認して下さい。

設定画面内にある「通信ポート設定」を開き「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外します。そして「通信ポート指定」にある空 COM にチェックを入れて下さい。（使用可能な COM のみチェックが入る様になっています。）

・通信ケーブルは付属のケーブル（又は『9 ピンのストレート』）を確認して下さい。

購入時に付属している通信ケーブルは『9 ピンのストレート』です。市販されている物には『9 ピンのクロス』もございます。『9 ピンのクロス』では転送出来ません。（これらの区別は見た目では分かりません。テスターで確認して下さい。）

Q. 設定を転送するときに「バージョンが合いません」と表示されます

A. 本体と設定ソフトのバージョンの組み合わせが正しくない場合表示されます。バージョンを確認してください。バージョンが正しいのに表示される場合は、通信が正常に行われていない可能性があります。「通信ポート設定」で、「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外して、直接使用するポートを指定してください。

Q. 設定ソフトはWindows で使用できますか

A. Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 で動作します。

Q. 設定ソフトでWL100 の設定ファイル(拡張子 WLD のファイル)を読み込めますか

A. できません。

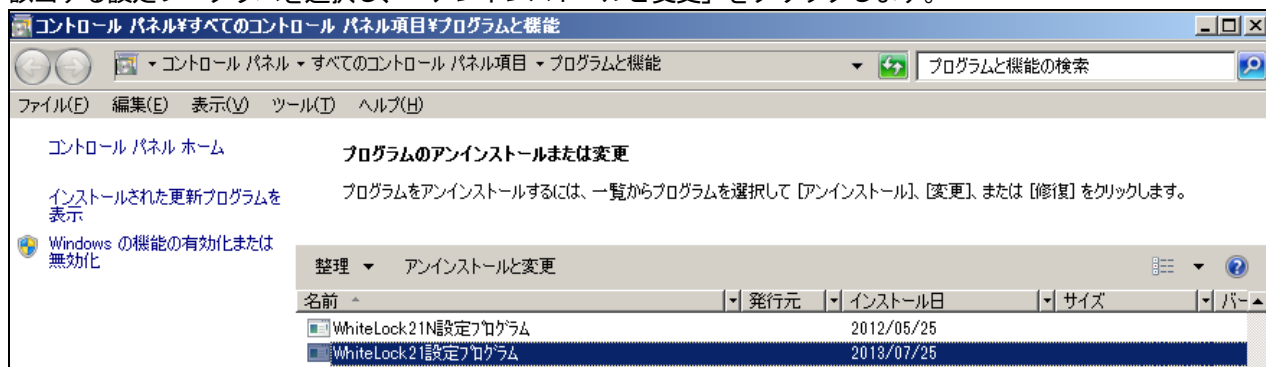
Q. 設定ソフトは付属していませんか

A. はい、付属しておりません。弊社ホームページ<https://www.adocon.jp/>よりダウンロードして下さい。ダウンロードとインストール方法は、13ページを参照下さい。

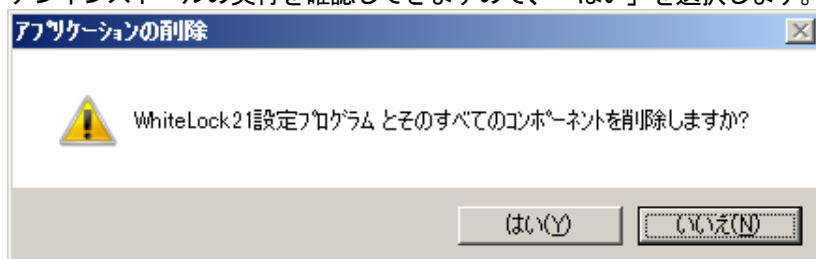
こんなときには

設定ソフトウェアのアンインストール

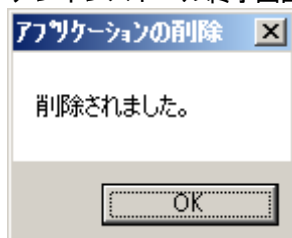
[スタート]メニューの[コントロールパネル]の「プログラムと機能」を選択します。
該当する設定プログラムを選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。



アンインストールの実行を確認してきますので、「はい」を選択します。



アンインストール終了画面です。



※アンインストールを実行しても、インストールしたフォルダ（例：C:\Program Files\WL21）は自動削除されません。
WL21 のフォルダを手動で削除してください。

本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

仕様

「WhiteLock21A」 本体

形式	音声及びDTMF呼出方式非常通報装置
適用回線	NTT仕様のアナログ電話回線(2線式)
回線接続方式	通信コネクタ (モジュージャック)
選択信号種別	プッシュボタン (PB) または、ダイヤルパルス (DP:20PPS)
動作設定	専用パソコンソフトで設定条件等をシリアル転送する
信号入力点数	8点 (無電圧接点またはオープンコレクタ)
停電復電検出機能	本体内部に停電復電検出機能搭載
信号出力点数	4点 (オープンコレクタ出力)
自動発信	入力変化
携帯メール発信	可 (英数カナ漢字でメッセージを送出)
話し中検知機能	あり (話し中及び通信が確立しないときにリダイヤル)
音声録音方式	圧縮無し直接録音方式
音声録音時間	16チャンネル装備。1チャンネル10秒、合計160秒
音声メモリバックアップ	不要 (フラッシュメモリー)
録音再生方法	イヤホンマイクを使用。録音・停止・再生ボタン操作による
停電保証	内蔵電池により、1時間以上
制御CPU	8ビット2個のマルチCPU
外部インターフェース	シリアル9ピン(EIA-574)
電源	AC アダプタ AC100V 50/60Hz
動作温度範囲	0 °C ~ 40 °C
動作湿度範囲	15 % ~ 80 % (結露なきこと)
周囲環境	腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
呼出電話番号設定	最大6カ所
停電保障用充電池	006P DC9V 250mAh ニッケル水素充電池
寸法 (mm)	132 (W) × 150 (H) × 48 (D)
重量	重量 約 540g (電池込みの本体重量)
動作電圧	9.5V~10.0V
消費電流	80mA (最大170mA)

設定ソフトウェア

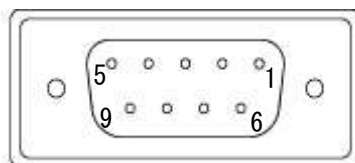
型式	WhiteLock21 設定ソフトウェア
動作環境	Windows 7 Windows 8 Windows 10 日本語のみ対応 メモリ 64M以上 ディスク空き容量 7M以上

インターフェース仕様

コネクタの形状は、9 ピン仕様の EIA-574 です。

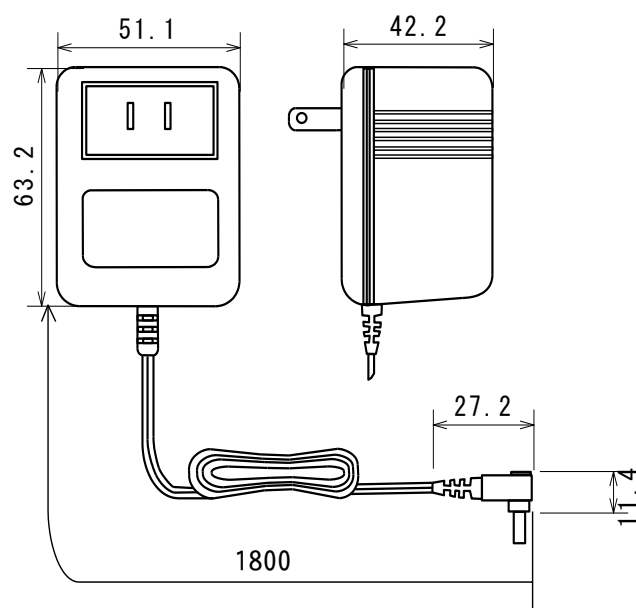
ピン記号	信号
1	CD
2	RD
3	TD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI

ピン番号は製品本体側を示す

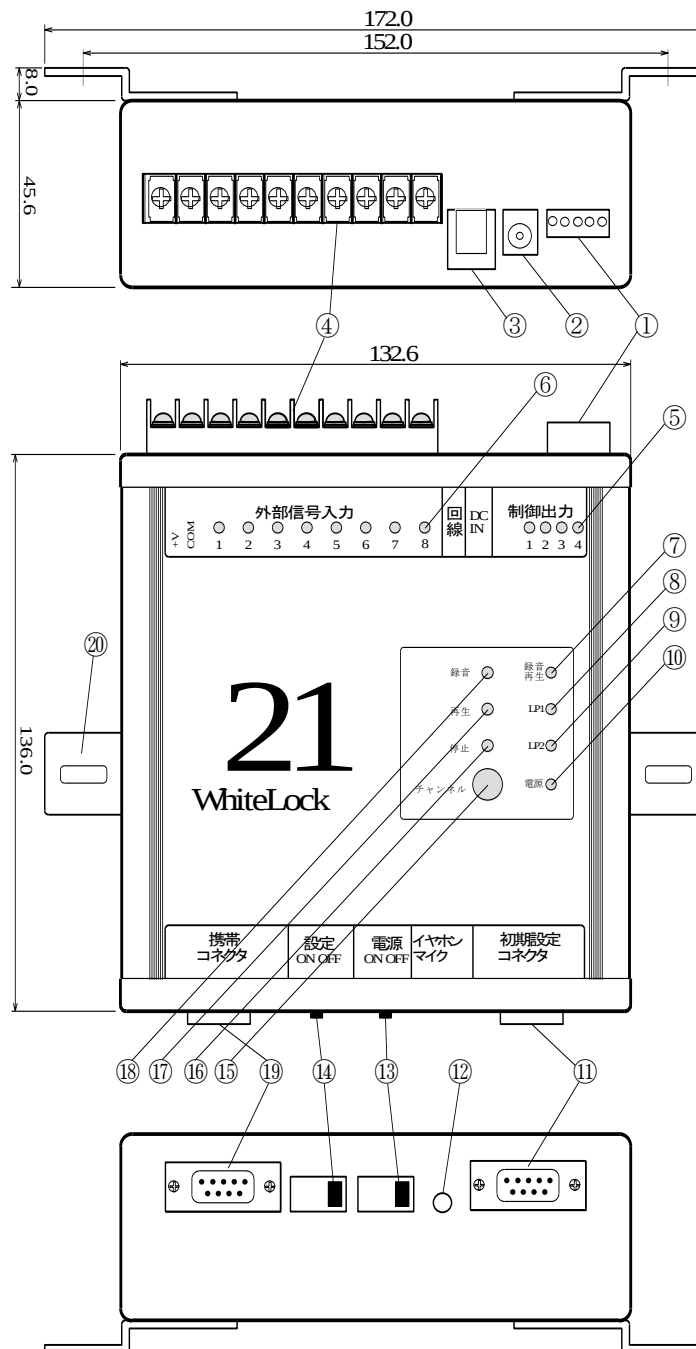


設定に使用するパソコンが、このコネクタを装備していない機種の場合（PC-9800 シリーズ等）は、別途変換コネクタ（D-sub25pin → D-sub9pin）をお買い求め下さい。

AC アダプタ外形図



本体外形図



1	制御出力コネクタ	11	設定用シリアルコネクタ
2	AC アダプタ接続コネクタ	12	録音再生用イヤホンジャック
3	電話回線モジュージャック	13	電源スイッチ
4	外部信号入力端子	14	設定スイッチ
5	制御出力モニターランプ	15	チャンネル切替スイッチ
6	外部信号入力モニターランプ	16	停止押しボタン
7	録音再生ランプ	17	再生押しボタン
8	動作モニタ LP1	18	録音押しボタン
9	動作モニタ LP2	19	携帯ケーブル接続コネクタ
10	電源ランプ	20	取付金具

付録

文字コード

フリーメッセージ

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
	2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
	3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
	4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-	/
	7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&	🕒	☎	☑
	8	ヤ	(	ユ	)	ヨ	*	#		♥	
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
	0	ワ	ヲ	ン	°	°	6	7	8	9	0

半角大文字英字、大文字カタカナ、数字、一部の記号が使えます。

「*2*2」に続いて1桁目、2桁目をダイヤルする文字です。

SMSメールで78(時計)、70(コップ)の文字は使用できません。

※パソコンで直接入力できない文字を使用する場合、78(時計)は「⌚」、79(電話)は「☎」70(コップ)は「△」、89(ハート)は「♥」を入力してください。

区点コード

全角文字です。「#」に続いて4桁の数字をダイヤルする文字です。

使用できる文字は携帯電話の取扱説明書の区点コード一覧を参照してください。

バージョン

WL21A	取扱説明書	設定ソフト	日付
Ver 1.0.4/100	Ver 1.0.2	Ver 1.1.1	2002/04
	Ver 1.0.5	Ver 1.1.4	2002/05
Ver 1.05/120	Ver 1.0.7	Ver 1.1.5	2002/06
			2002/07
	Ver 1.1.0	Ver 1.1.6	2002/08
	Ver 1.1.5		2002/09
	Ver 1.1.6		2002/10
Ver 1.06/150			2002/12
	Ver 1.1.7		2003/01
Ver 1.07/180	Ver 1.1.8		2003/02
Ver 1.08/180			2003/03
	Ver 1.19	Ver 1.1.7	2003/04
	Ver 1.20		2003/05/29
Ver 1.09/200			2003/06/09
	Ver 1.21	Ver 1.1.8	2003/06/11
	Ver 1.22		2003/07/07
	Ver 1.23		2003/10/06
	Ver 1.24		2003/10/23
	Ver 1.25	Ver 1.1.9	2003/10/31
	Ver 1.26		2004/03/22
Ver 1.09/300	Ver 1.27	Ver 1.4.0	2004/05/13
	Ver 1.28	Ver 1.4.1	2004/07/16
	Ver 1.29	Ver 1.4.2	2004/10/01
	Ver 1.30	Ver 1.4.3	2004/10/13
	Ver 1.31		2004/11/22
Ver 1.70/300	Ver 1.36	Ver 1.4.6	2006/02/04
	Ver 1.37		2006/03/01
	Ver 1.38		2006/11/21
Ver 1.70/400	Ver 1.39		2007/09/07
	Ver 1.40		2008/08/01
	Ver 1.41		2009/12/25
	Ver 1.42		2010/11/11
	Ver 1.43		2011/05/26
	Ver 2.00		2013/08/17
	Ver 2.01		2013/09/04
	Ver 2.02		2015/12/22
	Ver 2.03		2020/09/11
	Ver 2.04		2021/01/25
	Ver 2.05		2023/01/30

更新履歴

Ver1.02 2002/4

- ・ 「特徴」を修正。
- ・ 「制限事項」を修正。
- ・ 「パッケージ内容の確認」に取り付け金具を追加。
- ・ 「設置工事」にセンサー用電源出力の設定方法を追加。
- ・ 「設置方法」の信号入力部内部回路のイメージ図で外の配線例を修正。
- ・ 「Q&A」に「チップのバージョンアップをしたら設定をやり直す」を追加。

Ver1.05 2002/5

- ・ 信号出力内部回路を追加。
- ・ Q&A に追加。
- ・ 社名を「有限会社システムアドバンス」から「株式会社アドコン」に変更。

Ver1.07 2002/6

- ・ 携帯電話機のバッテリーについて追加。
- ・ 「動作モニタ」→「表示ランプ」→「起動時」に追加。
- ・ 「動作設定」→「全体の設定」に追加。
- ・ Q&A 追加

Ver1.10 2002/8

- ・ 停電保証の時間を1時間とした。
- ・ 停電保障充電電池の満充電までの時間を72時間とした。
- ・ 制限事項にPBXで使用する場合に聞こえる必要のある音の種類を追加。
- ・ Q&A を追加。

Ver1.15 2002/9

- ・ 本体から設定を読み込む説明を追加。
- ・ Q&A を追加。
- ・ 停電保証の時間がまだ2時間となっていた部分を修正。
- ・ 「付属の設定ソフト」と書いてあったのを削除。
- ・ WhiteLock 集中監視で使用する場合について追加。
- ・ 停電保障充電電池の満充電までの時間を72時間とした。
- ・ 「パルスダイヤル回線で携帯メールが出来ない」と書いてあったが実際はできる。
- ・ Q&A を追加。

Ver1.16 2002/10

- ・ クイックキャストでの使用方法を追加。

Ver1.17 2003/1

- ・ 「停電保証について」を修正。
- ・ ACアダプタの寸法を追加。
- ・ ランプの点灯状態を修正。

Ver1.18 2003/2

- ・ ニッカド充電電池の説明を追加。

Ver1.19 2003/4

- ・ Q&A に追加と修正。

Ver1.20 2003/5/29

- ・ 「はじめに」に追加。

Ver1.21 2003/6/11

- ・ 「PBXでの使用について」を追加。

Ver1.22 2003/7/7

- ・ 「Cメールについて」を追加。

Ver1.23 2003/10/6

- ・ 「Q&A」を追加。
- ・ 「通報終了の条件」に「注意事項」を追加。
- ・ 「停電保証について」を更新。

Ver1.24 2003/10/23

- ・ 音声通報で#を押すと通報終了。
- ・ 「制御盤などに設置する場合」を追加。

Ver1.25 2003/10/31

- ・ 「J-フォン」を「ボーダフォン」に変更。

Ver1.26 2004/3/22

- ・ Q&A に追加。
- ・ ボーダフォンメールセンターを更新。
- ・ 仕様に動作電圧と消費電流を追加。

Ver1.27 2004/5/10

- ・ 設定ソフト ver1.4.0 に対応。

Ver1.28 2004/7/16

- ・ クイックキャストを未対応にした。

Ver1.29 2004/10/01

- ・ au の C メールに関する項目を削除。
- ・ 通報の種類／タダ電通報での料金を取られる場合の説明を追加
- ・ 「オプション電源」の名称を「センサー用電源出力」に変更
- ・ 回線接続方式を修正。
- ・ 選択信号種別を修正。
- ・ Q&A を追加。

Ver1.30 2004/10/13

- ・ 例として載せていた電話番号を XXX に変更した。

Ver1.31 2004/11/22

- ・ 本体バージョン 1.70 に対応。テレコン時、プッシュボタン入力は無音のときに受けつける。

Ver1.32 2005/03/31

- ・ 住所を変更。

Ver1.33 2005/06/06

- ・ Q&A を修正。

Ver1.35 2005/08/02

- ・ 東京営業所についての項目を削除。

Ver1.36 2006/02/04

- ・ ホームページアドレス追加。

Ver1.37 2006/03/01

- ・ Q&A 追加、安全にお使いいただくために追加(電話番号の誤った登録についての注意)。

Ver1.38 2006/11/21

- ・ Q&A 追加、安全にお使いいただくために追記(電話番号の誤った登録)。

Ver1.39 2007/09/01

- ・ 随所細かいところを修正。

Ver1.40 2008/08/01

- ・ 雷による故障について追加。
- ・ D タイプの使用できる携帯電話機をドコモのムーバに書き換え。
- ・ A タイプの使用できる回線に ADSL・IP・光回線を追加。
- ・ ドコモショートメールに「SMS」の追加とスカイメール・スカイメッセージの削除。
- ・ 通報先に内線がある場合を追加。
- ・ 携帯メールセンターの編集を削除。
- ・ 早取り機能を自動転換器に変更。
- ・ Q&A をホームページと並びや内容を揃えた。
- ・ クイックキャストは削除。
- ・ 「WhiteLock100New との違い」を削除。
- ・ 「更新履歴」と「バージョン」を昇順に変更。

Ver1.41 2009/12/25

- ・ D タイプに接続する携帯電話機を MOVA 携帯電話機(2012 年 3 月末停波)とした。
- ・ 自動転換器に推奨品「ナカ電子製品」を追加。
- ・ AC アダプタの外形図を追加。
- ・ 掲載順番を変更(動作設定を前に移動)。
- ・ A タイプで契約電話回線が NTT 以外の場合、メールセンターに接続出来ない事があると追加。

Ver1.42 2010/11/11

- ・ 『ショートメール 2012 年 3 月 31 日をもって終了』のお知らせ
- ・ SMS の削除
- ・ 内部回路図（入出力）の修正

Ver1.43 2011/05/26

- ・ オムロンソリッドリレー接続図を Q&A のページから、出力説明ページへ移動と内容を修正。
- ・ WL21A で、トーン信号が出ない携帯電話機からのテレコンは出来ない事を追加
- ・ 携帯電話機・ビジネスホン・ホームテレホンを接続出来ない電話機から「回線」に変更
- ・ ビジネスホン・ホームテレホンの回線に接続すると故障する事を追加
- ・ 自動転換器 NT-325N をオプション品販売している事を追加
- ・ 録音チャンネル「0~15」を「0~9・A~F」へ変更
- ・ 動作モニタで LP1・LP2 に色別でラインを追加

Ver2.00 2013/08/17

- ・ WL21A 専用取扱説明書にした
- ・ 取扱説明書サイズを A5 から A4 に変更
- ・ 索引の追加
- ・ 表記ページへのリンクを追加
- ・ 通報の状態を表す図を差し替え
- ・ 外観図とリンクを追加
- ・ メール送信システムの設定方法を詳しく追加
- ・ SMS（ショートメッセージ）通報の設定方法を詳しく追加
- ・ 入力信号の接点仕様の説明を解りやすく修正
- ・ 設定ソフトの動作環境で、WindowsVista は社内での動作確認が出来ない為、削除
- ・ Windows98、WindowsMe、Windows2000 のサポートは終了した事を追加

Ver2.01 2013/09/04

- ・ 出力信号の仕様を、オープンコレクタ出力と訂正
- ・ 設定ソフトウェアの Windows7 対応についてを追加

Ver2.02 2015/12/22

- ・ 信号出力の接続例（ソリッドステート・リレー）を削除し、リレーユニット（オプション品）を追加
- ・ 動作モニタの一部修正
- ・ 入力信号の ON/OFF を「警報発生」と「警報解除」に変更
- ・ 各名称を統一
- ・ 自動転換器を NT-320 へ差し替え
- ・ 信号線をまとめるのに絶縁付閉端接続子の説明を追加
- ・ 設定ソフト対応 OS に Windows8 を追加
- ・ 200V を 100V 変換するトランスの説明を Q&A に追加
- ・ その他細かい所の修正

Ver 2.03 2020/09/11

- ・ メール送信システムの電話番号を『0852673441』へ変更
- ・ その他細かい所の修正

Ver 2.04 2021/01/25

- ・ 問い合わせ先のホームページに QR コードを追加
- ・ メール送信システムを光回線で使用する場合の設定方法の修正
- ・ WindowsXP のサポートは終了した事を追加
- ・ その他細かいところの修正

Ver 2.05 2023/01/30

- ・ Q&A の修正

索引

A
ACアダプタ 44

C
COM 43

E
Eメール 34

I
ISDN回線 42

P
PBX 11

S
SMS 18, 24, 34, 58

W
WhiteLock集中監視 24, 34

あ
圧着端子 43
アンインストール 62

い
イヤホンマイク 32
インストール 13

お
音声通報 18, 34
音声録音 31

か
解除呼出 22, 25
外線発信番号 17

く
区点コード 66

け
警報解除 35
警報発生 35

こ
個別解除呼出 36
コマンド 41

し
自動転換器 42
受信装置 47
出力信号 40
信号出力 45
信号入力 45

せ
清掃 62
絶縁付閉端接続子 43
設定スイッチ 32, 48
設定ソフト 16, 61
接点仕様 22
全解除呼出 35
センサー用電源 44

そ
送信メッセージ 23

た
ターミナルアダプタ 42
ダイヤル回線 1, 8, 42, 48
タダ電通報 21, 34

つ
通信ポート 26
通報先 17

て
停電 22, 36

停電保証 50
停電保証用充電池 8, 50
テレコン 23, 39, 60
転送 27

と
動作モニタ 48
トーンモデム 19
取付金具 43

な
内線交換機 11
内蔵電池 50

に
入力端子 43

は
パスワード 39, 40

ひ
ビジネスホン回線 1, 8

ふ
復電 22, 36
プッシュ回線 1, 8, 42, 48
フリーメッセージ 66

ほ
ポート 29
ホームテレホン回線 1, 8
本体バージョン 29

め
メール送信システム 20, 25, 34, 59

ゆ
ユーザー登録 20

り
リレーユニット 46

WhiteLock21A

取扱説明書

Ver 2.05

2023 年 1 月

発行元 株式会社アドコン

<https://www.adocon.jp/>

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196